

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期総合戦略）
策定のための住民アンケート調査
【結果報告書】

令和5年3月
王寺町

目次

I	調査の概要.....	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査概要.....	1
3.	回収結果.....	1
4.	グラフ等の表記について.....	1
II	調査結果.....	2
1.	回答者の属性.....	2
2.	王寺町への定住意向.....	13
3.	地域活動への参加.....	22
4.	協働によるまちづくり.....	27
5.	王寺町の取組についての評価.....	31

I 調査の概要

1. 調査の目的

王寺町では現在、時代に即した王寺町にふさわしいまちづくりを進めていくための総合的な指針・戦略となる「王寺町総合計画後期基本計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケートは、住民のみなさまの王寺町へのご意見をうかがい、住民ニーズを把握するとともに、成果指標を測定し、総合計画の策定に反映していくものです。

2. 調査概要

○調査地域：王寺町全域

○調査対象者：王寺町内在住の18歳以上の住民

○抽出方法：住民基本台帳より無作為に2,000人を抽出

○調査方法：郵送配布による。回答方法は、アンケート用紙への記入のほか、インターネットでの回答も可能とする。

○調査期間：令和5年1月10日（火）発送、令和5年1月27日（金）締切

3. 回収結果

配布数	回収数	回収率
2,000 件	934 件 (内インターネット回答 196 件)	46.7 %

4. グラフ等の表記について

- ・グラフに表示されているn値は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- ・集計結果の％表示は小数点第2位を四捨五入したものです。そのため単数回答であっても内訳の合計が100％にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、各選択肢の％は、該当設問のn値に対する割合を示しています。そのため合計が100％を超える場合があります。

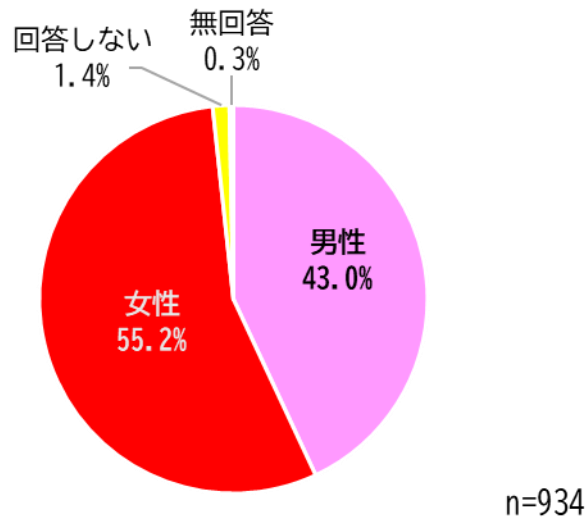
Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別 《単数回答》

問1 性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「男性」が43.0%、「女性」が55.2%と、「女性」がやや多くなっています。

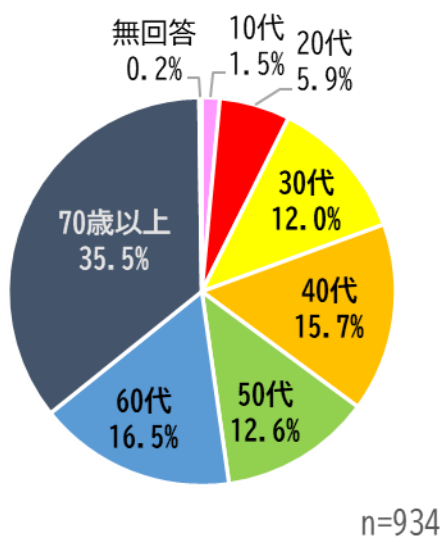


(2) 年代 《単数回答》

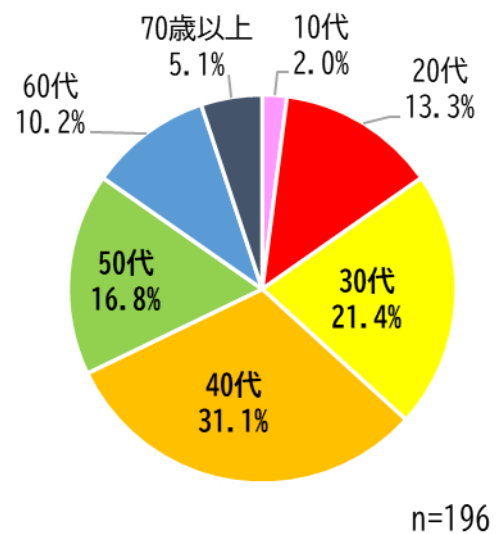
問2 年代をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の年代は、「70歳以上」が35.5%と最も多く、次いで「60代」が16.5%、「40代」が15.7%となっています。「40代」以下は合わせて35.1%となっています。

インターネットでの回答者は、「40代」以下が67.9%と、比較的若い世代が多くなっています。



回答者全体

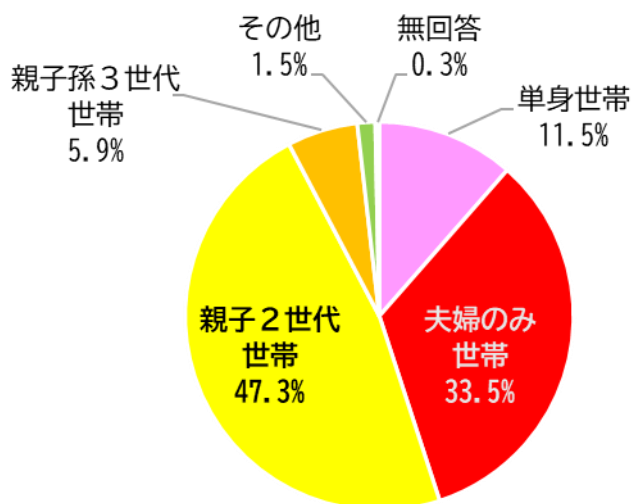


インターネットでの回答

(3) 家族構成 《単数回答》

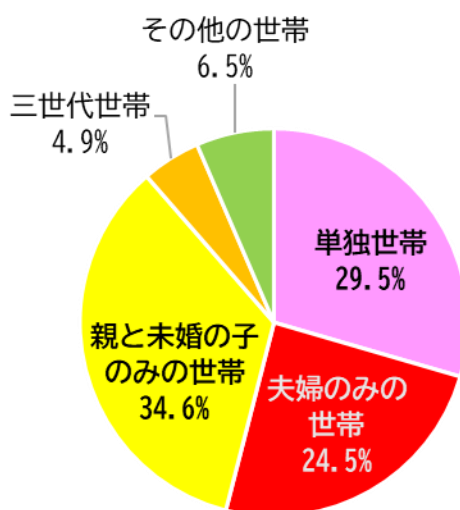
問3 あなたの家族構成について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「親子2世代世帯」が47.3%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.5%、「単身（ひとりぐらし）世帯」が11.5%となっています。



n=934

<参考> 厚生労働省「国民生活基礎調査」



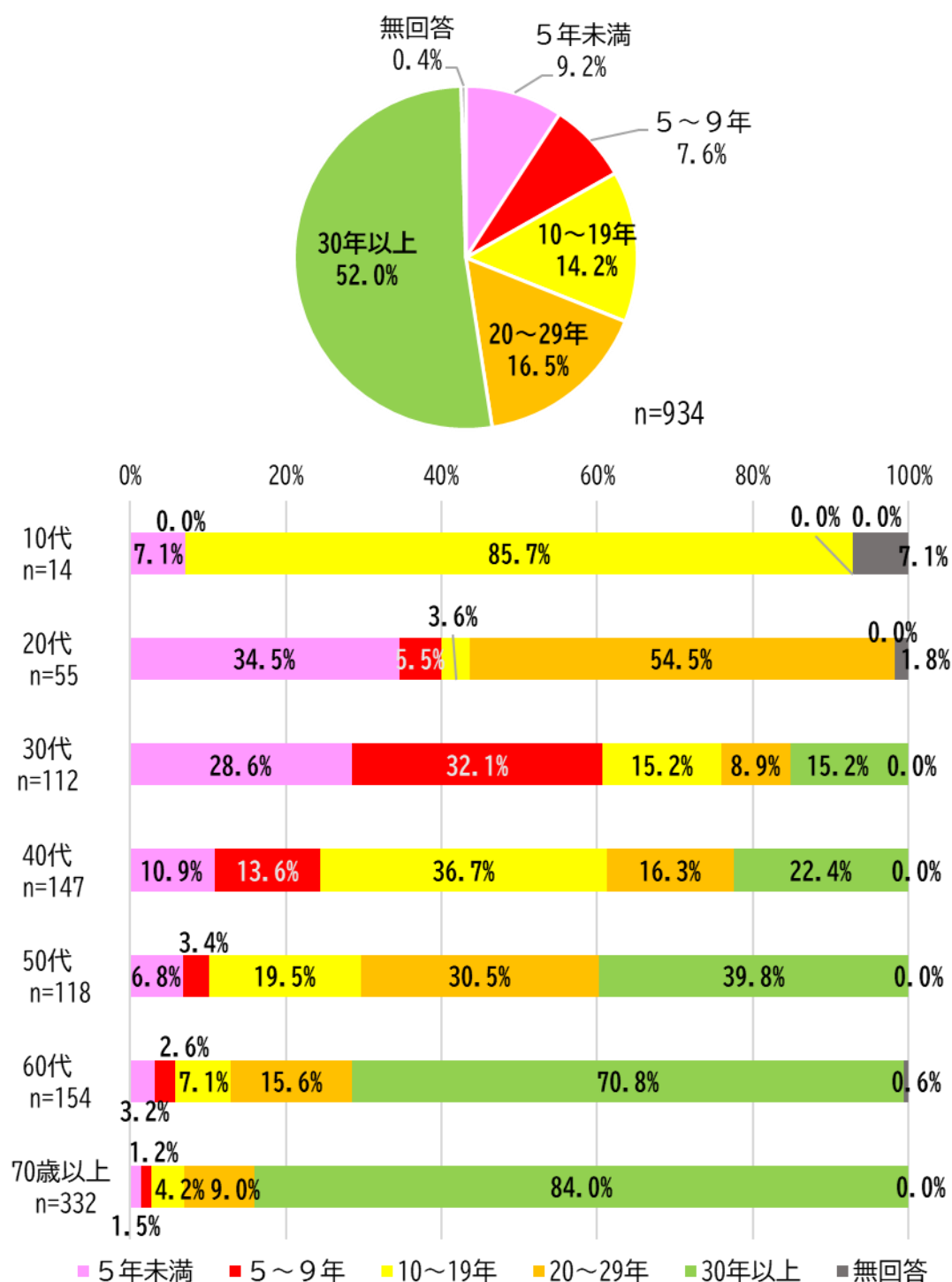
全国：令和3(2021)年

(4) 居住年数 《単数回答》

問4 あなたは、どのくらいの期間、王寺町にお住まいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「30年以上」が52.0%と最も多く、次いで「20～29年」が16.5%、「10～19年」が14.2%となっています。

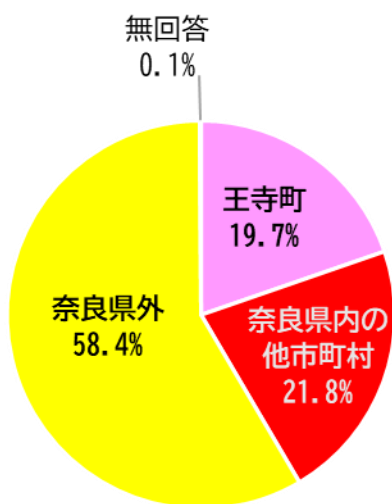
10代は「10～19年」85.7%が多く、20代は「20～29年」54.5%と「5年未満」34.5%が多数、30代は「5～9年」32.1%と「28.6%」、40代は「10～19年」36.7%が多数となっています。50代以上は「30年以上」が最も多く年代が上がるにつれてその割合が大きくなっています。



(5) 出身地 《単数回答》

問5 あなたの出身地はどちらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「奈良県外」が 58.4%と最も多く、次いで「奈良県内の他市町村」が 21.8%、「王寺町」は 19.7%となっています。

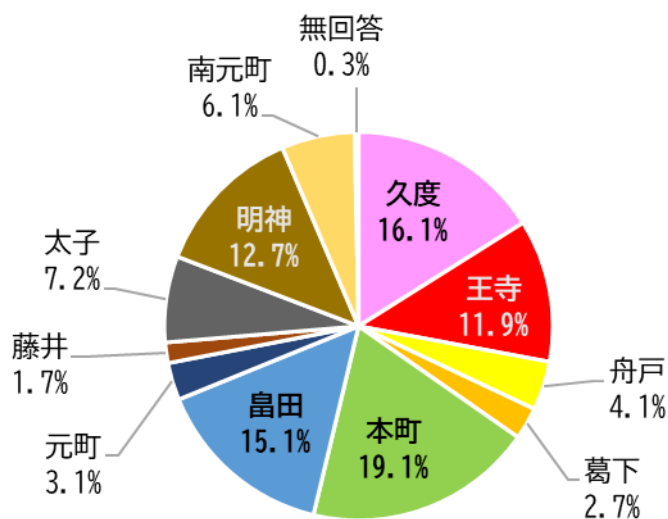


n=934

(6) 現在の居住地 《単数回答》

問6 あなたは、現在どこに住んでおられますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「本町」が 19.1%と最も多く、次いで「久度」が 16.1%、「畠田」が 15.1%となっています。

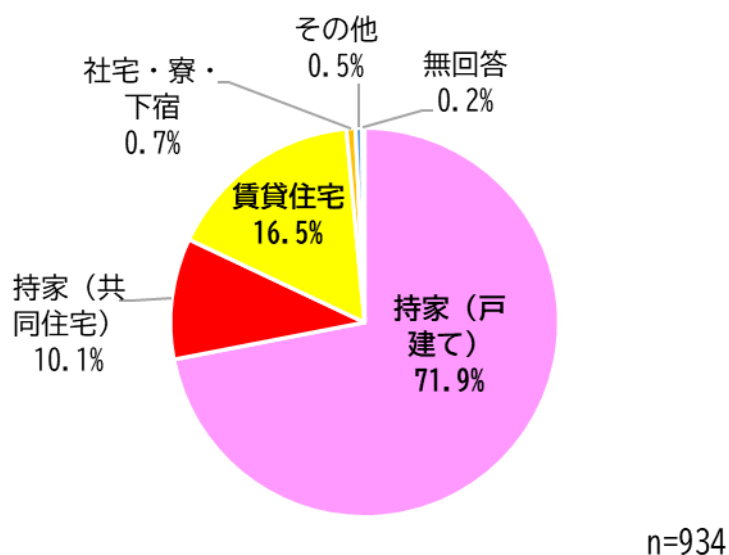


n=934

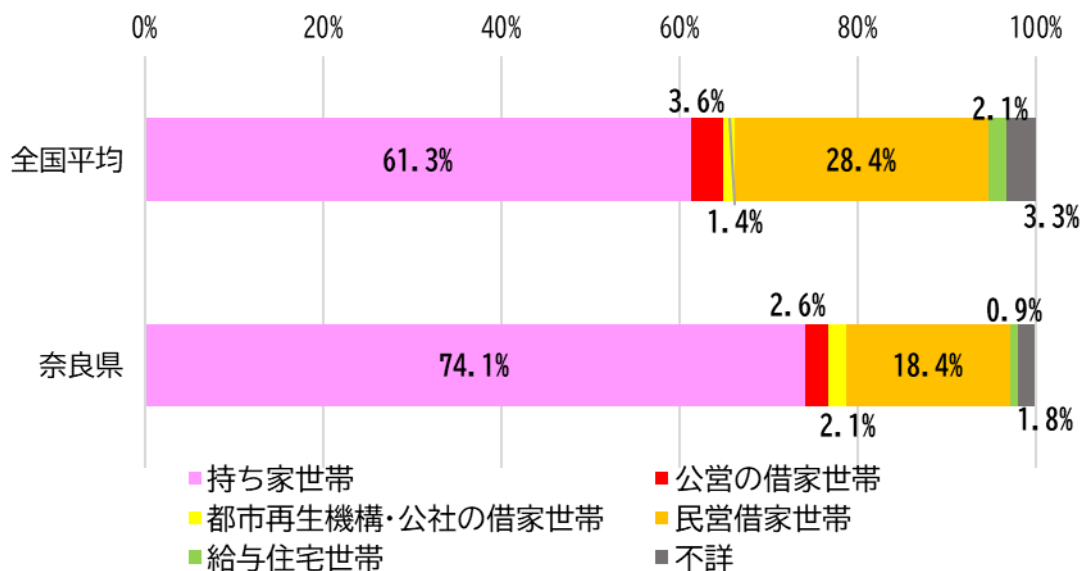
(7) 現在の住宅形態 《単数回答》

問7 あなたが現在お住まいの住宅についておたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、「持家」には家族が所有するものを含みます。

「持家（戸建て）」が71.9%で最も多く、「持家（分譲マンションなどの共同住宅）」10.1%を合わせると「持家」は8割以上となり、「賃貸住宅」は16.5%となっています。



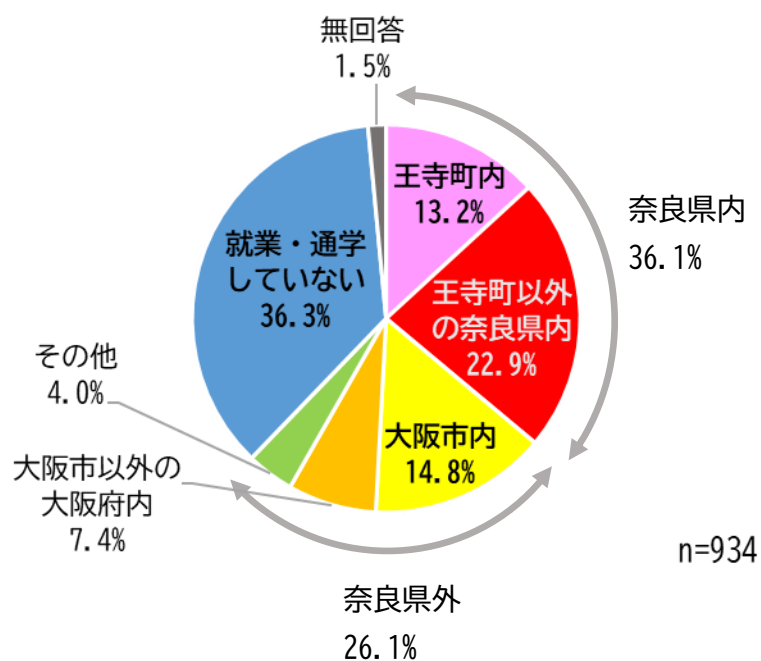
<参考> 総務省統計局「住宅・土地統計調査」（平成30(2018)年）
住宅の種類の割合



(8) 主な就業地・通学地 《単数回答》

問8 あなたの主な就業地または通学地をお答えください。(○は1つだけ)

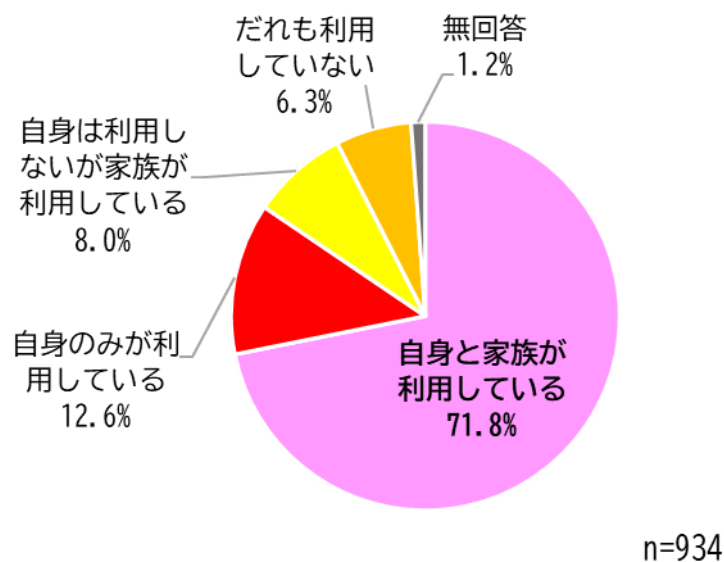
「就業・通学していない」が36.3%で最も多くなりました。就業地・通学地としては、「王寺町以外の奈良県内」が22.9%、「大阪市内」が14.8%、「王寺町内」は13.2%となっています。



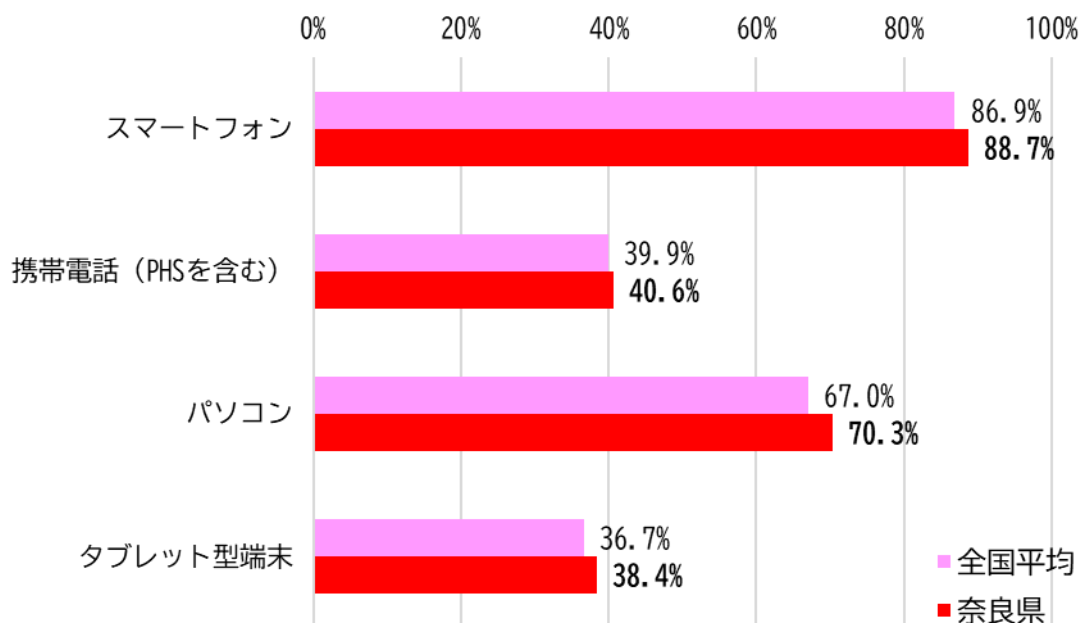
(9) インターネットの利用状況 《単数回答》

問9 あなたの世帯では、ご自身を含め、ご家族のどなたかが、スマートフォンやパソコンなどでインターネットを利用していますか。(○は1つだけ)

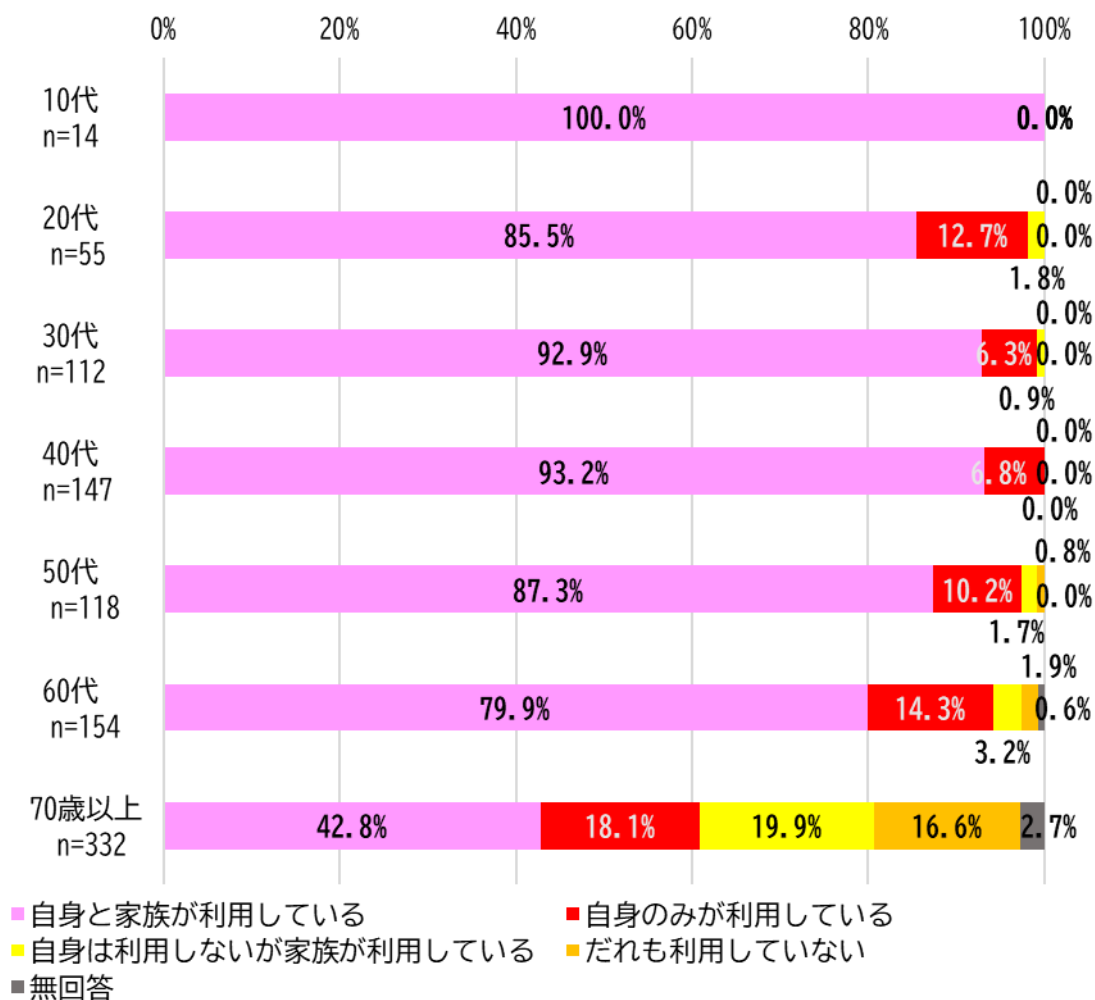
「自身と家族が利用している」71.8%と「自身のみが利用している」12.6%を合わせると8割以上がインターネットを利用していると回答しています。「自身は利用しないが家族が利用している」8.0%も合わせると9割以上となります。



<参考> 総務省「通信利用動向調査」(令和3(2021)年)
情報通信機器の保有状況：保有する世帯の割合



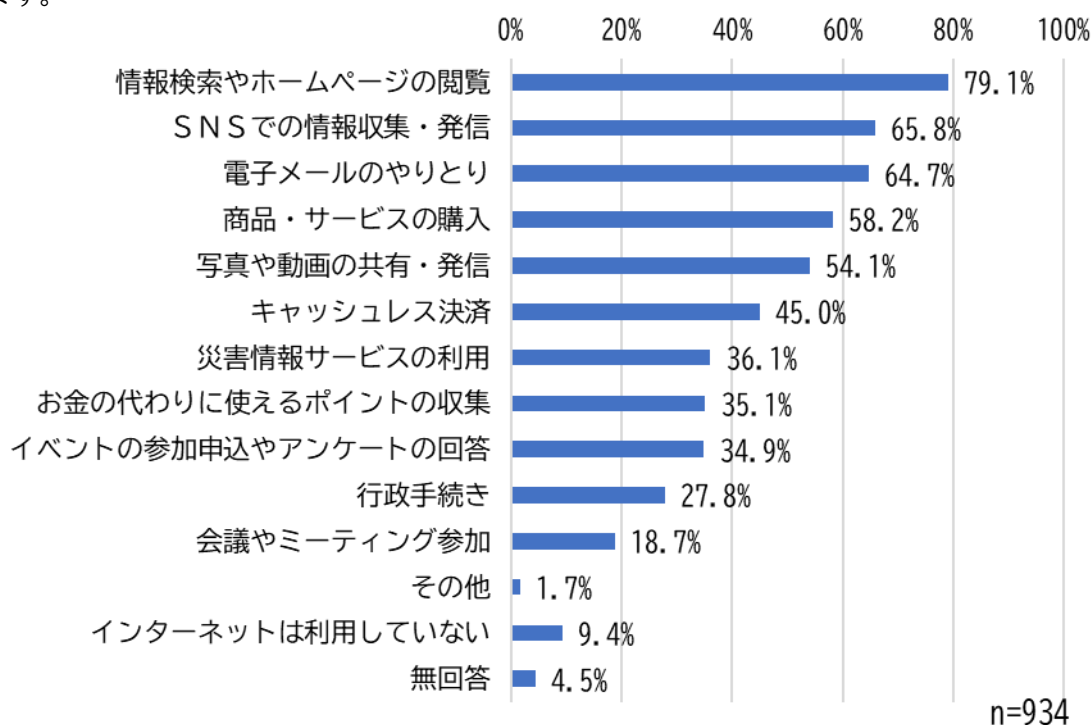
「自身と家族が利用している」と「自身のみが利用している」を合わせると、10代、40代は100%がインターネットを利用していると回答しています。20代、30代、50代は98～99%が、60代は94%がインターネットを利用していると回答しています。



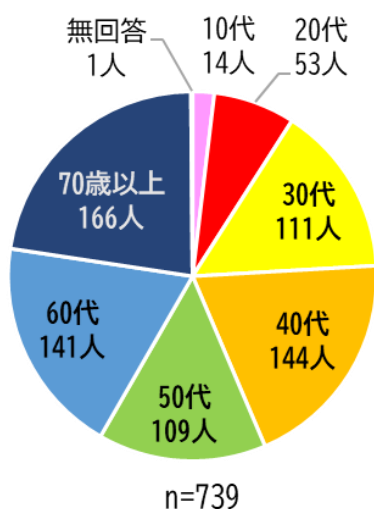
(10) インターネットの利用内容 《複数回答》

問 10 あなたはスマートフォンやパソコンなどでインターネットを（仕事以外で）どのように利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

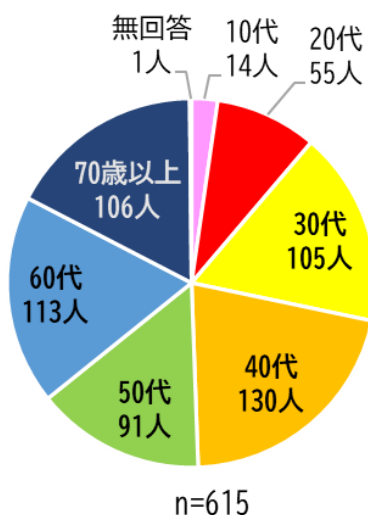
「情報検索やホームページの閲覧」79.1%が最も多く、次いで「SNS（ライン、フェイスブック、ツイッターなど）での情報収集・発信」65.8%、「電子メールのやりとり」64.7%、「商品・サービスの購入」58.2%、「写真や動画の共有・発信」54.1%が、5割を超える回答者にあげられています。



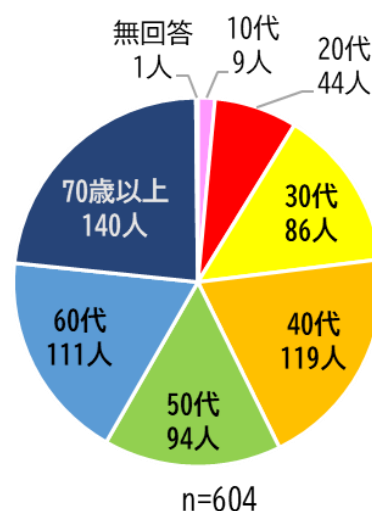
①「情報検索やホームページの閲覧」内訳（人）



②「SNSでの情報収集・発信」内訳（人）



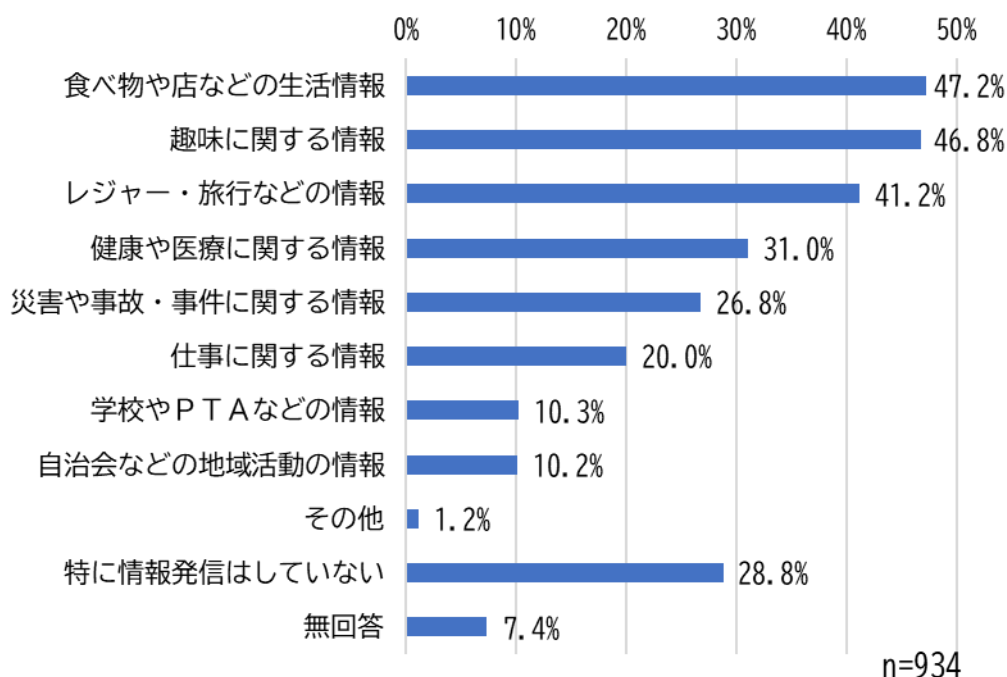
③「電子メールのやりとり」内訳（人）



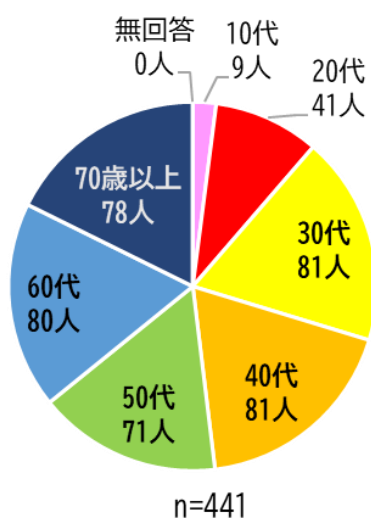
(11) インターネットによる情報発信 《複数回答》

問 11 あなたはSNSなどを利用して、どのような情報発信・情報交換をしていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

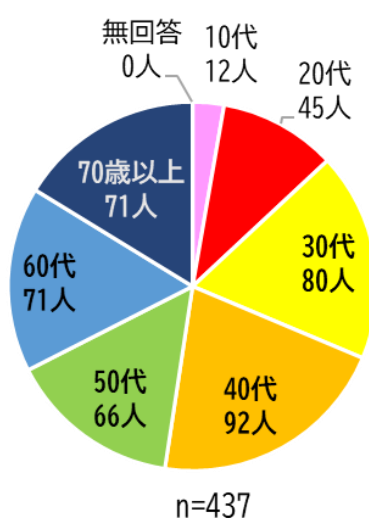
「食べ物や店などの生活情報」が 47.2%と最も多く、次いで「趣味に関する情報」46.8%、「レジャー・旅行などの情報」41.2%、「健康や医療に関する情報」31.0%と、3 割以上の多くの回答者にあげられています。一方で「特に情報発信はしていない」が 28.8%となっています。



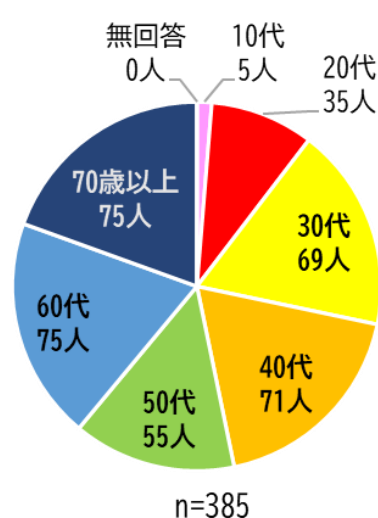
①「食べ物や店などの生活情報」内訳（人）



②「趣味に関する情報」内訳（人）



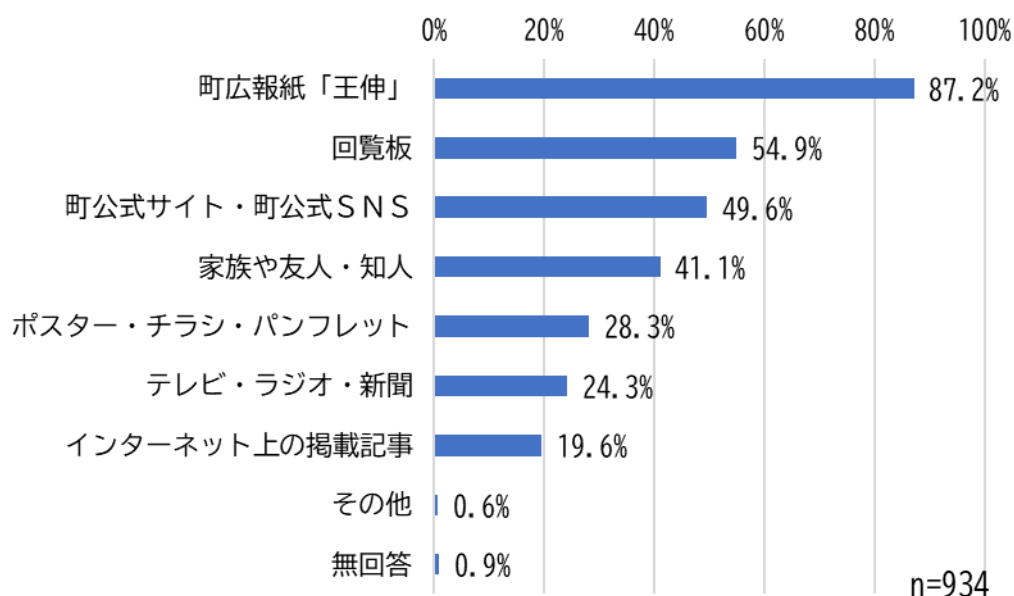
③「レジャー・旅行などの情報」内訳（人）



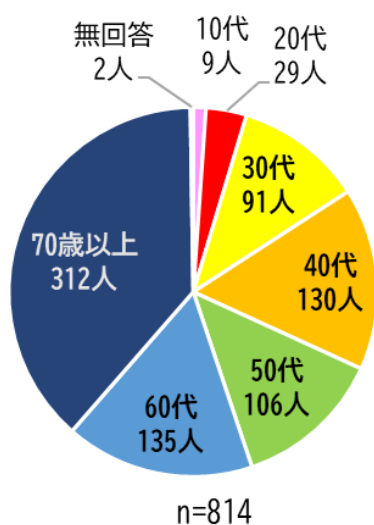
(12) 町や地域の情報の取得方法 《複数回答》

問 12 あなたは町や地域の情報をどのように得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

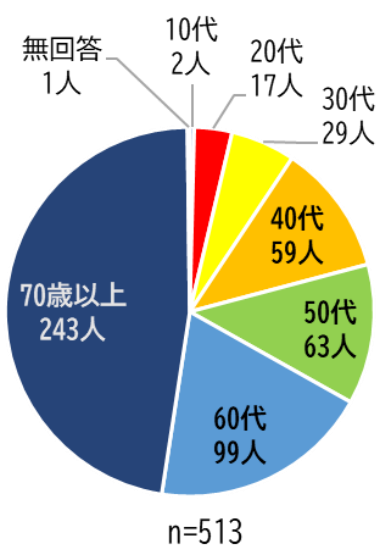
「町広報紙「王伸」」が 87.2%と最も多くなっています。次いで「回覧板」が 54.9%、「町公式サイト・町公式SNS（ライン、フェイスブックなど）」が 49.6%、「家族や友人・知人」が 41.1%となっています。



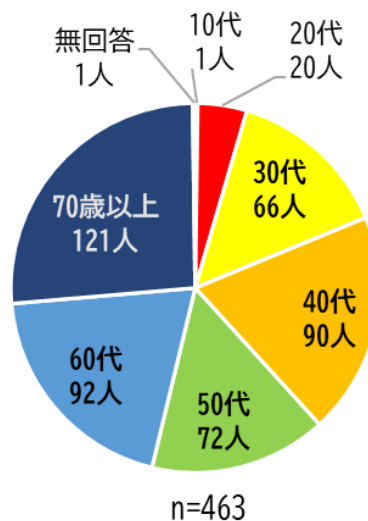
①「町広報紙「王伸」」内訳（人）



②「回覧板」内訳（人）



③「町公式サイト・町公式SNS」内訳（人）



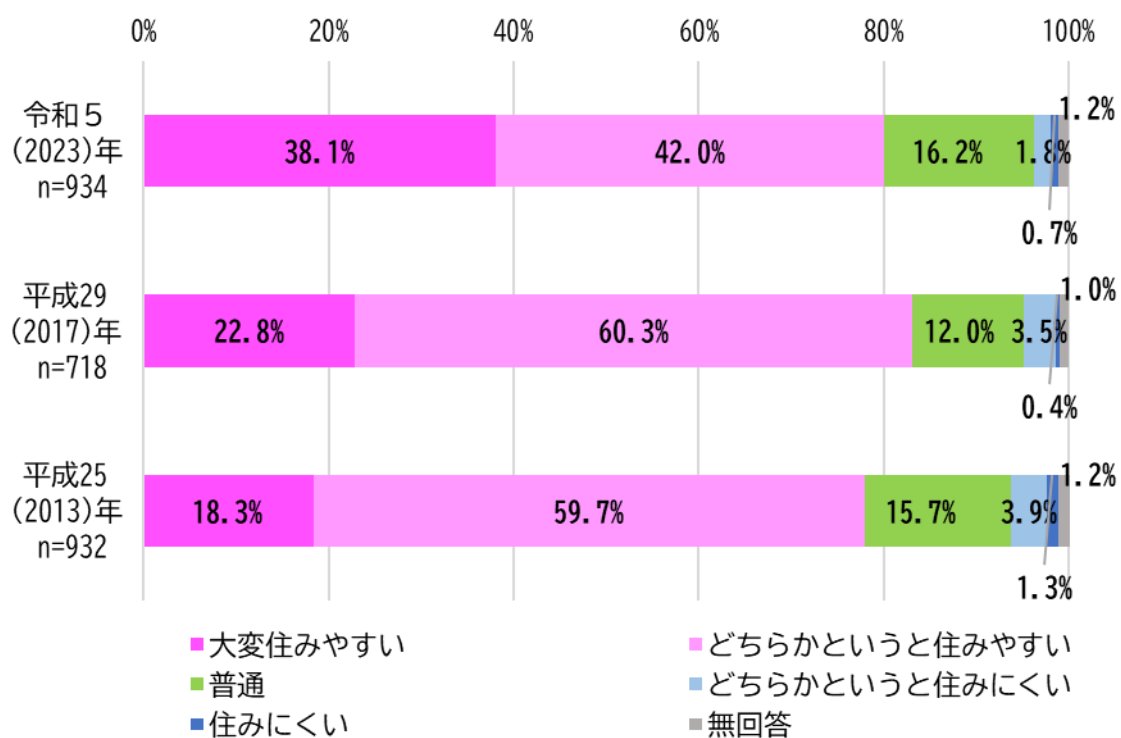
2. 王寺町への定住意向

(1) 王寺町の住みやすさ 《単数回答》

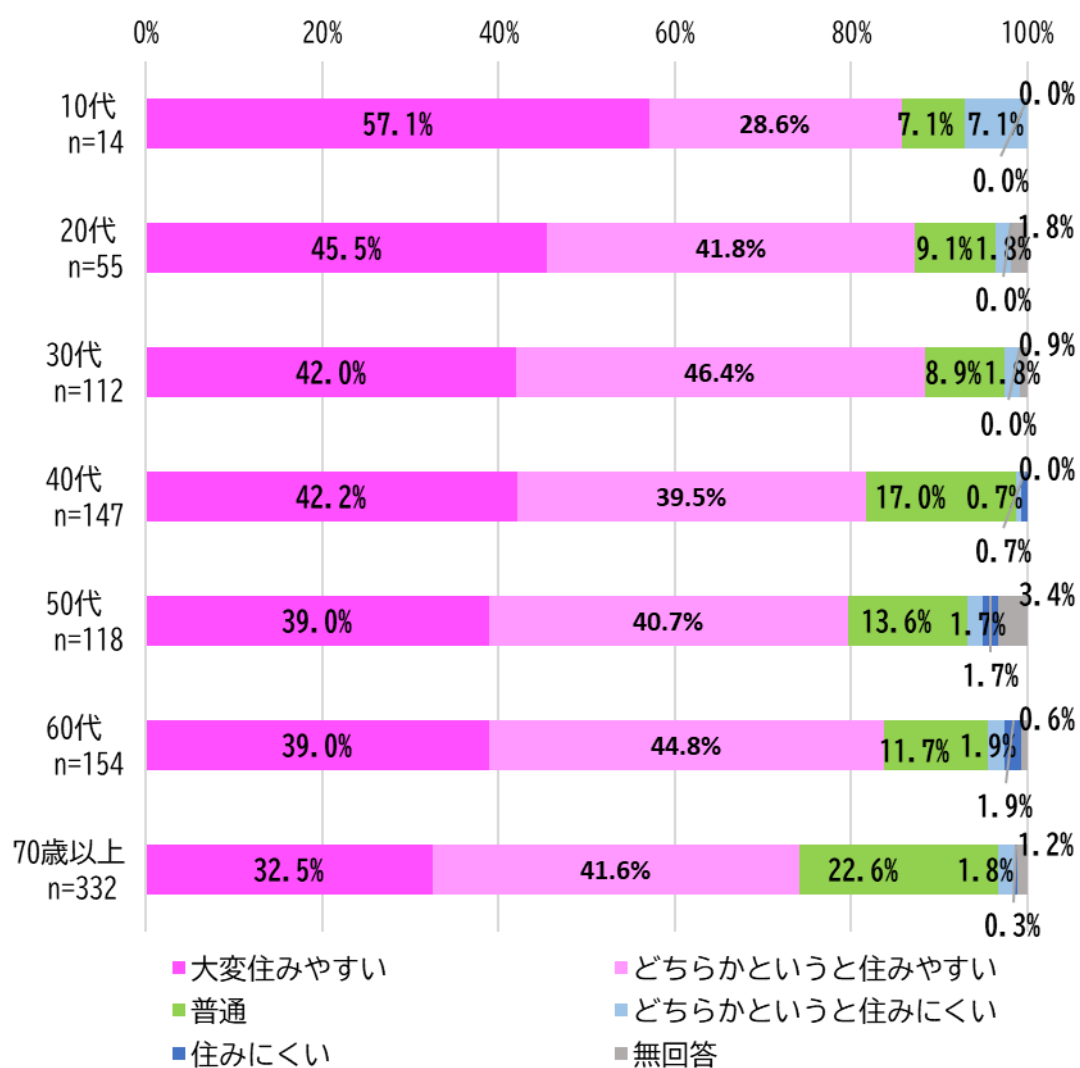
問 13 あなたは、王寺町は住みやすいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

王寺町の住みやすさについて、「大変住みやすい」が38.1%で最も多く、「どちらかというに住みやすい」42.0%と合わせると、8割の方が住みやすいと回答しています

前回調査と比較すると、「大変住みやすい」の割合が平成25年、平成29年から増加しています。



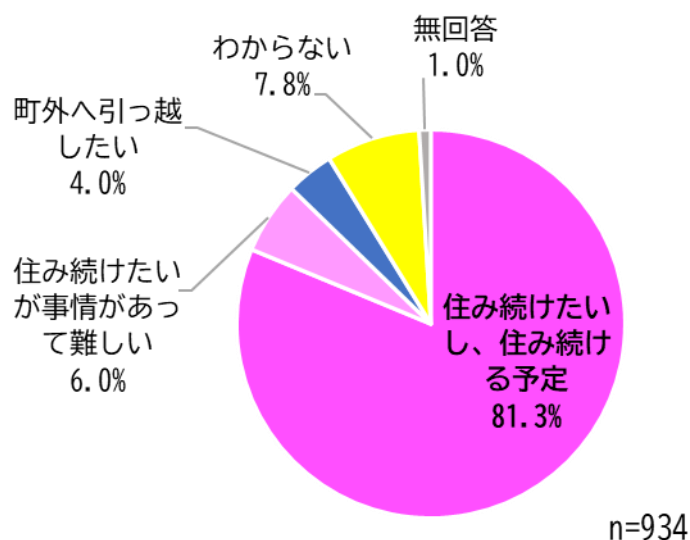
年代別でみると、「大変住みやすい」の割合が、年代が上がるほど減少する傾向がみられます。



(2) 王寺町に住み続けたいと思うか 《単数回答》

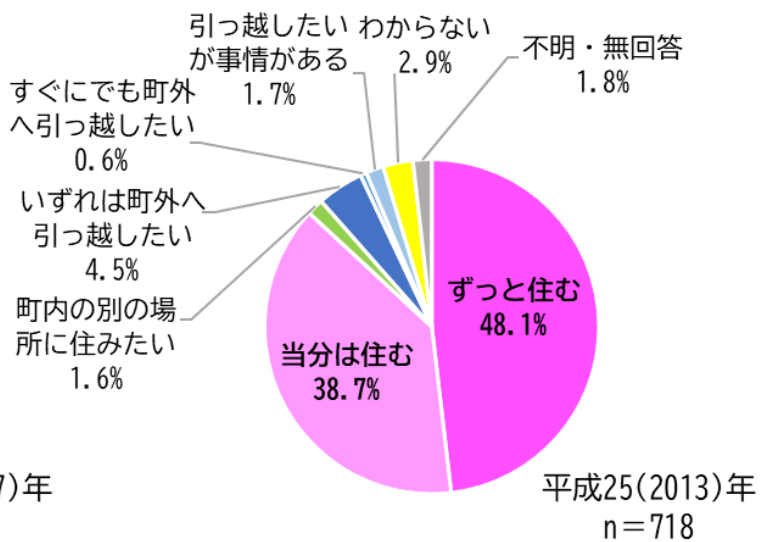
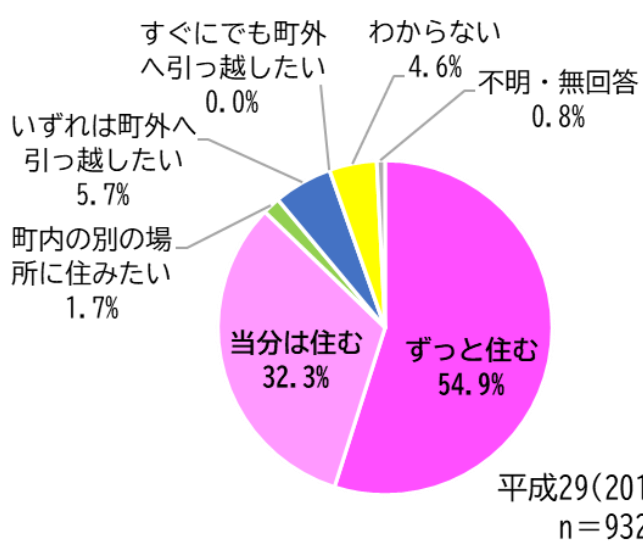
問 14 あなたは、今後も王寺町に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

王寺町に住み続けたいと思うかについて、「住み続けたいし、住み続ける予定」が81.3%と、多数となっています。



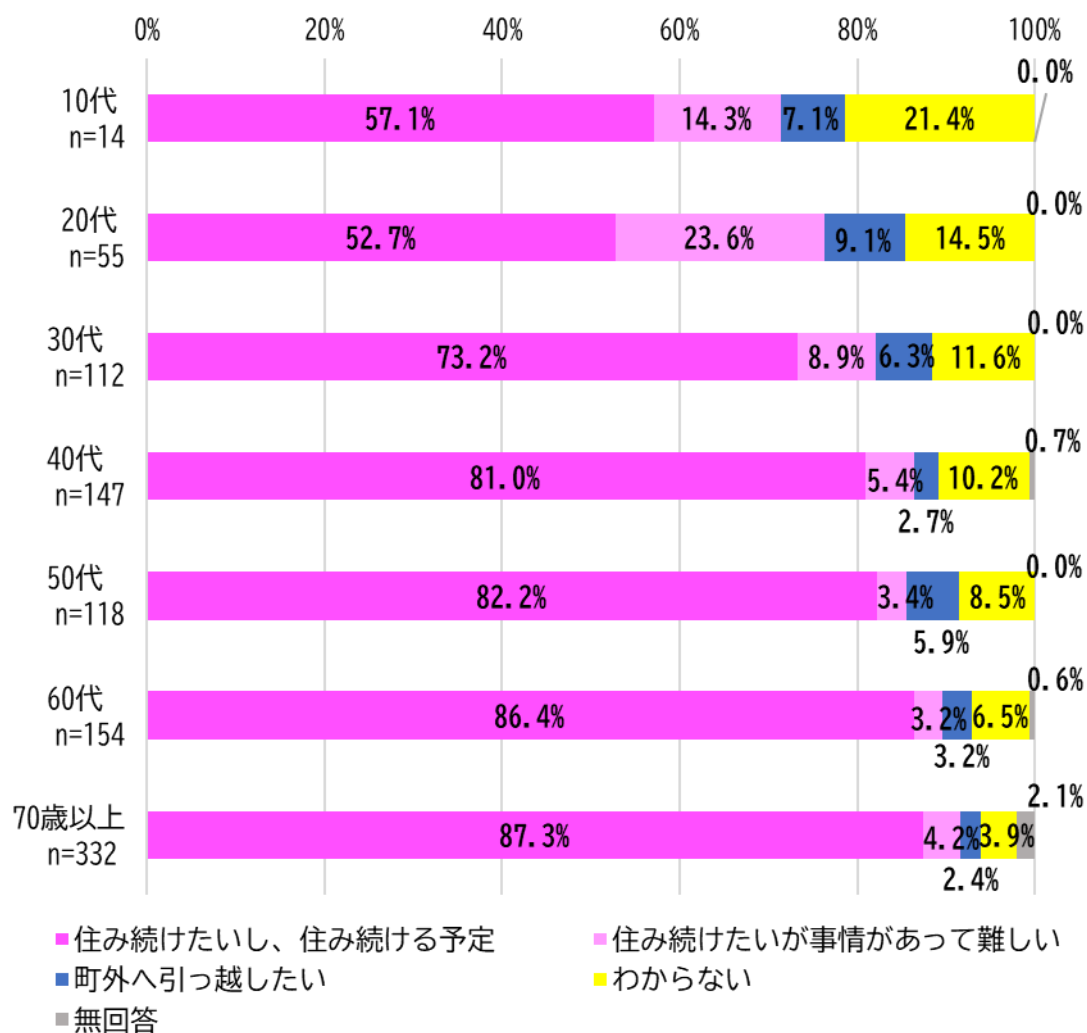
<参考>

「今後も王寺町に住み続けたいと思うか」



※設問項目「引越したいが事情がある」は、25年踏査のみ設定

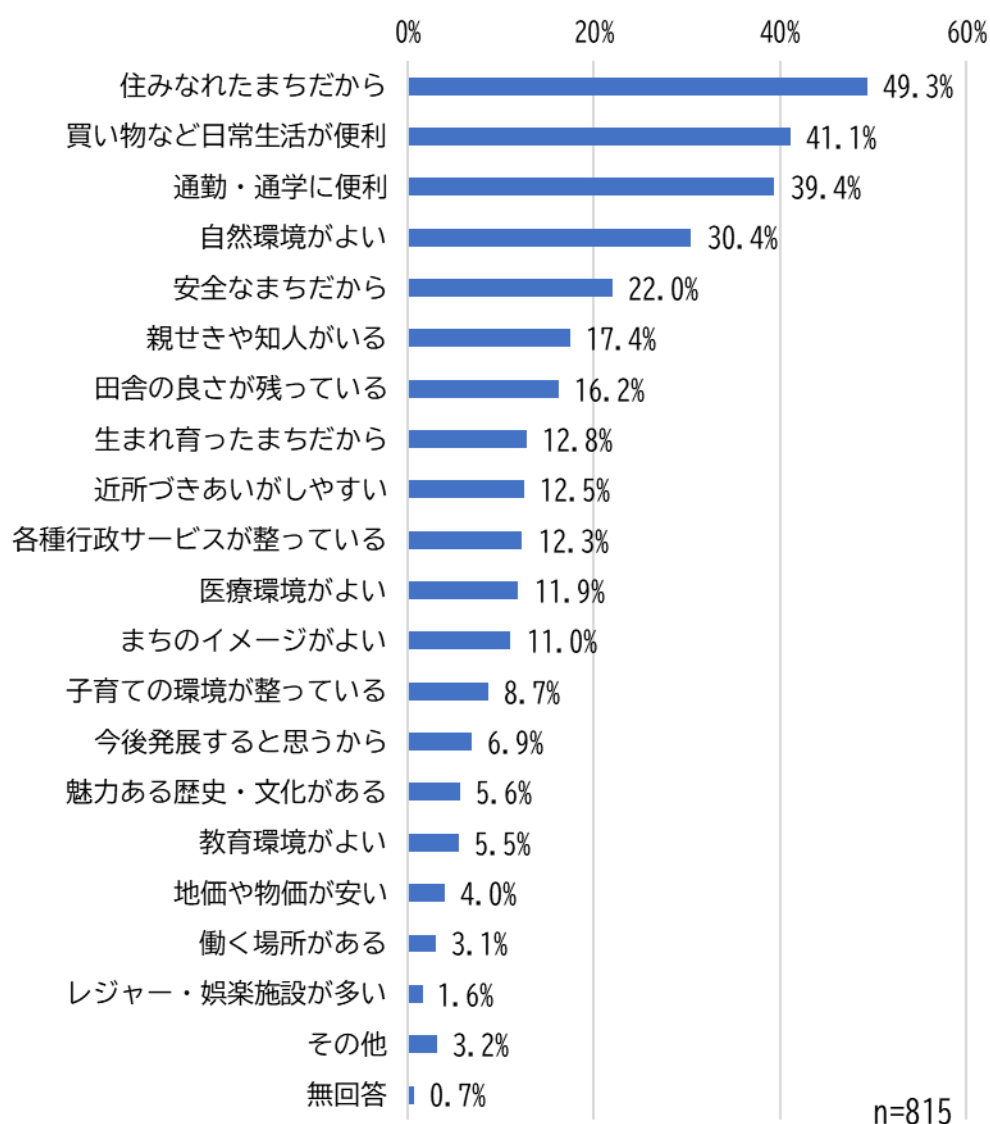
年代別でみると、「住み続けたいし、住み続ける予定」の割合が、年代が上がるほど増加する傾向がみられます。「住み続けたいが事情があって難しい」の割合は20代で23.6%、10代で14.3%と高くなっています。「町外へ引っ越したい」は20代で9.1%、10代で7.1%、30代で6.3%、50代で5.9%とやや高くなっています。



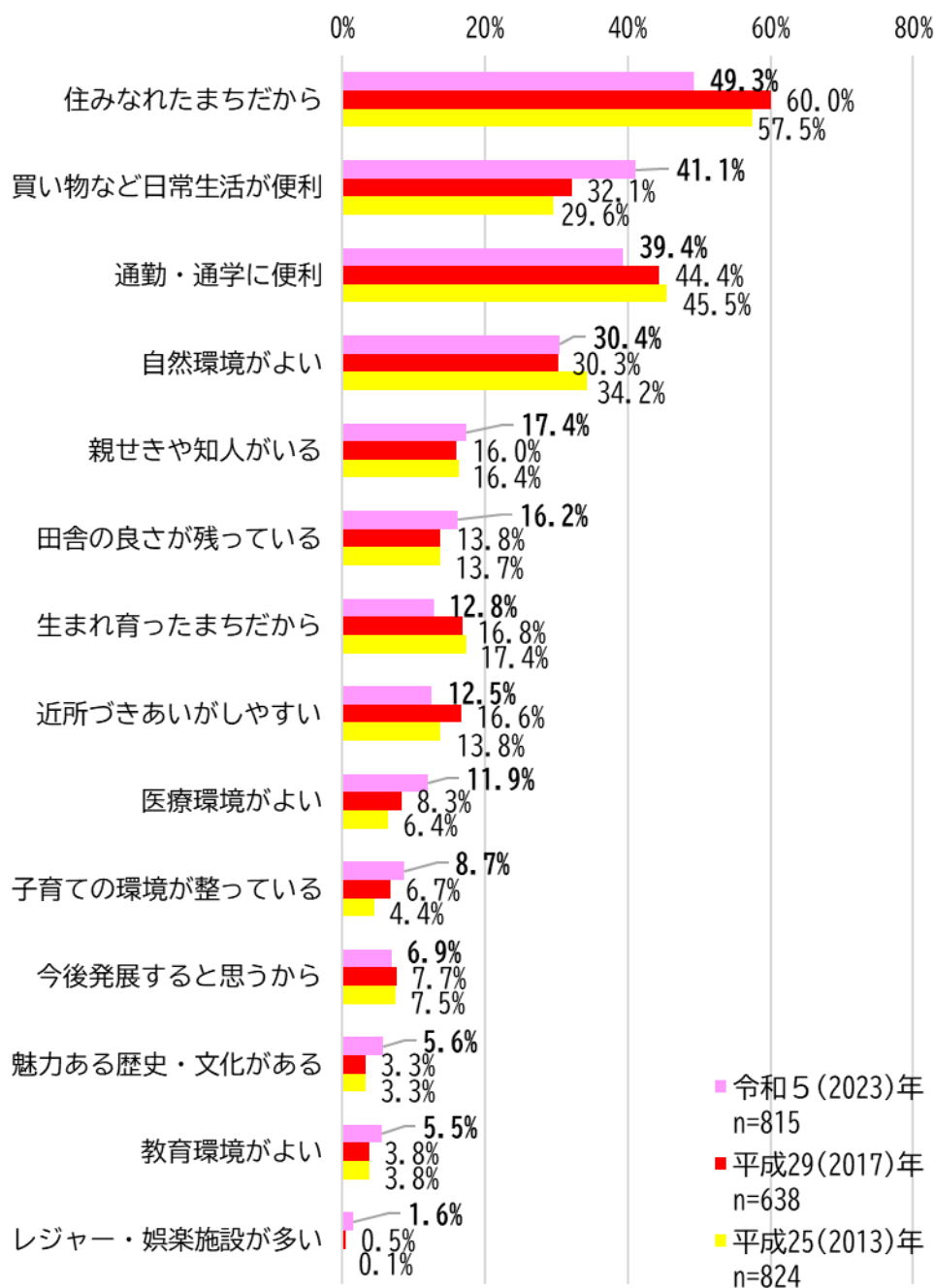
(3) 王寺町に住み続けたい理由 《複数回答》

問 15 問 14 で「1.住み続けたいし、住み続ける予定」「2.住み続けたいが事情があって難しい」と答えた方におたずねします。住み続けたい理由を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

王寺町に住み続けたい理由については、「住みなれたまちだから」が 49.3%と半数近くの回答者にあげられています。次いで、「買い物など日常生活が便利」41.1%、「通勤・通学に便利」39.4%と利便性の良さ、「自然環境がよい」が 30.4%と多くの回答者に理由としてあげられています。



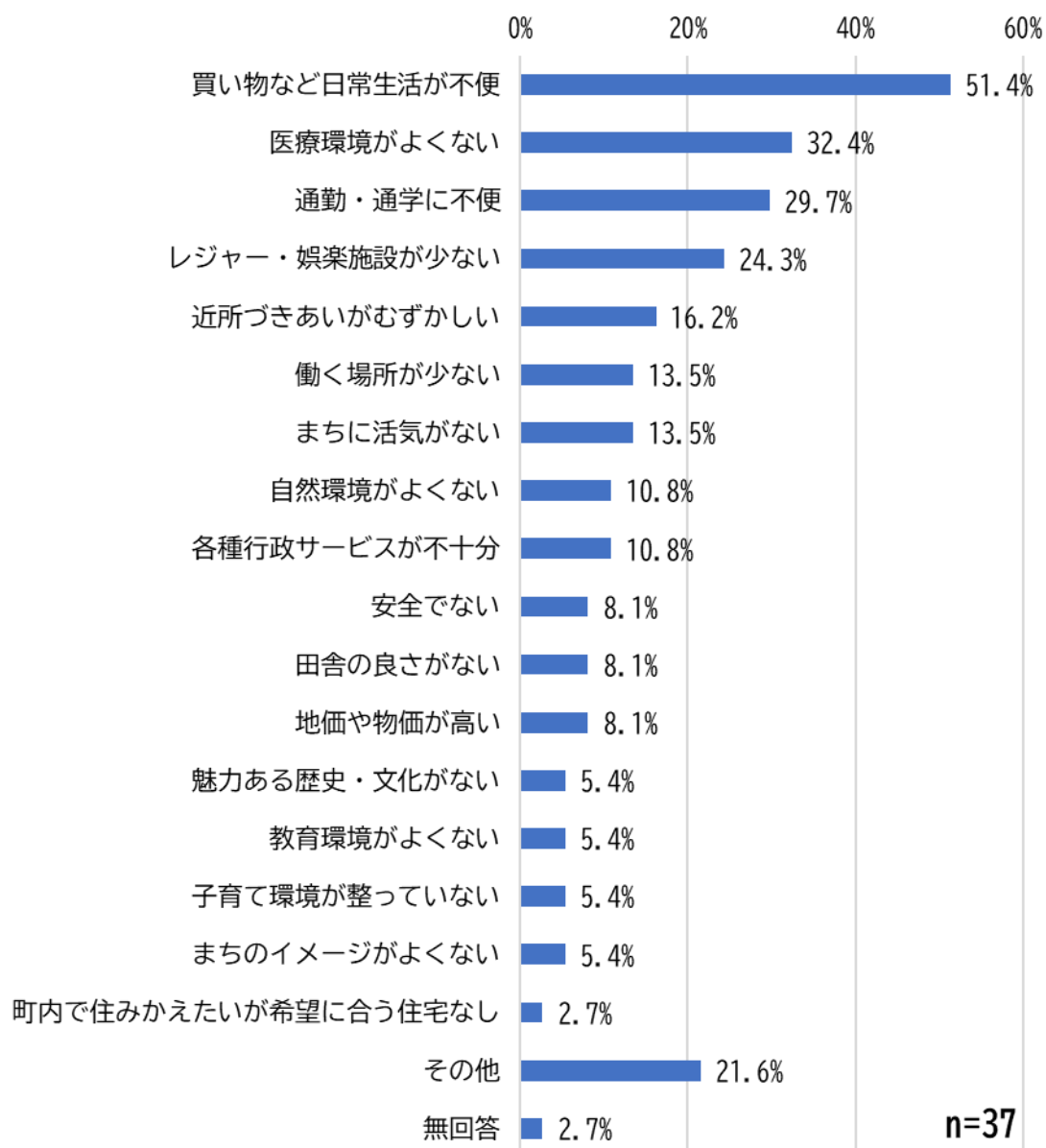
前回調査と共通する選択肢を比較すると、「住み慣れたまちだから」と「通勤・通学に便利」の割合が、平成 29 年、平成 25 年調査より減少し、「買い物など日常生活が便利」の割合が増加しています。



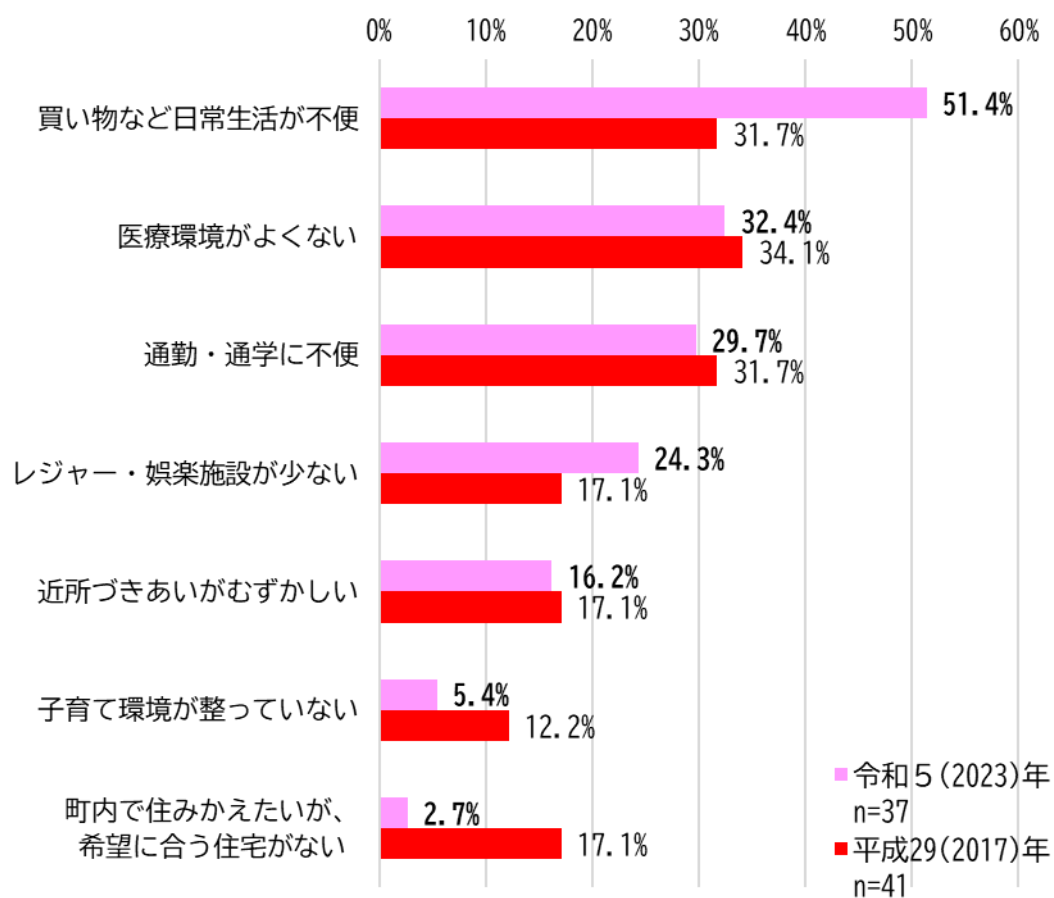
(4) 町外に引っ越したい理由 《複数回答》

問16 問14で「3.町外へ引っ越したい」と答えた方におたずねします。町外に移りたい理由を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

王寺町から外へ移りたい理由については、「買い物など日常生活が不便」が51.4%と最も多く、回答対象者の半数以上にあげられています。次いで、「医療環境がよいくない」32.4%、「通勤・通学に不便」29.7%、「レジャー・娯楽施設が少ない」24.3%が多くあげられています。



前回調査と共通する選択肢を比較すると、「買い物など日常生活が不便」と「レジャー・娯楽施設が少ない」の割合が、平成29年調査よりも増加しています。



（５）王寺町で自慢したいこと 《自由記述》

問 17 （すべての方へ）あなたは、王寺町を知り合いに紹介するとき、自慢したいことはどのようなことですか。ご自由にお書きください。【例えば利便性、生活環境、観光・文化資源、行政サービス等】

730 件（全回答数の 78.2%）の記載がありました。 記載内容を分類し、整理しました。

<「王寺町で自慢したいこと」内容整理>

内 容	件数
交通（鉄道・公共交通・高速道路）の便が良い。（快速が停まる、鉄道のまち、通勤通学に便利、駅に近い）	304
大阪へのアクセス、奈良、京都へのアクセスの良さ。（都市部に近い）	221
自然環境（山・川など）が良い、緑が多い、空気がきれい。	130
生活環境・住環境が良い。（ベッドタウン・閑静・静か）	105
住みやすいまち（ランキング関西一位）、暮らしやすい、生活に必要なものがそろっている。	58
行政サービス・福祉が充実、役場職員の対応が良い。	86
利便性が良い。（便利）	80
子育てしやすい環境、子育て支援・保育が充実。	60
教育環境が良い。（義務教育学校）	34
王寺駅周辺が便利。（店舗、銀行、郵便局、役場、図書館が揃っている）	45
スーパー・コンビニなど商業施設、買い物の利便性が良い。	41
明神山、達磨寺、畠田公園	41
程よく田舎の良さ、都会と田舎の良さがある。	39
歴史的な地域、歴史遺産・文化資源がある。	37
治安が良い、安全。	26
医療環境が良い。	25
生涯学習・スポーツ、地域活動、イベントなどが活発。	24
マスコットキャラクター「雪丸」	24
景観・風景・が良い、街がきれい。	23
特にない、わからない、知らない。	22

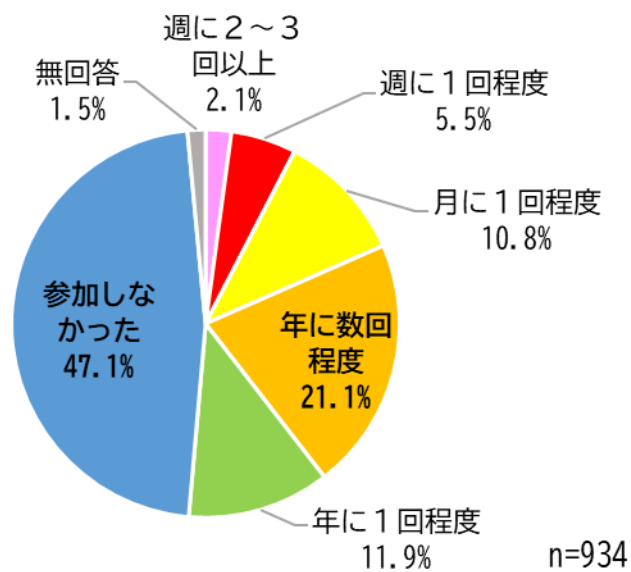
3. 地域活動への参加

(1) 地域活動への参加 《単数回答》

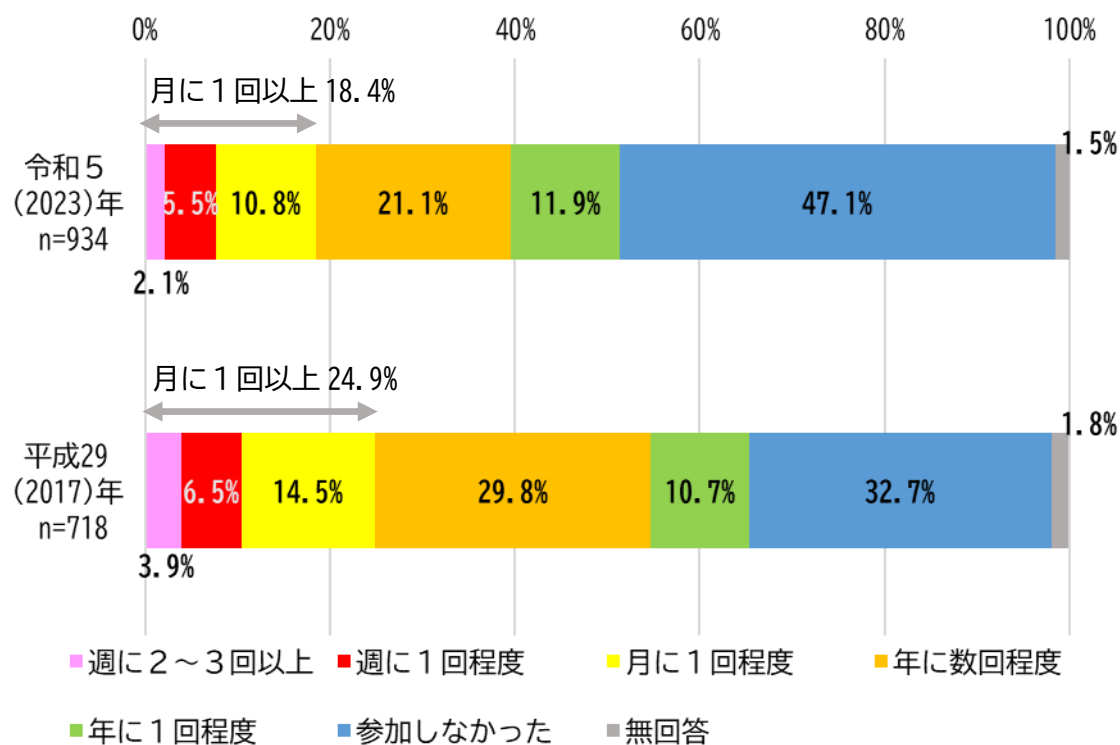
問 18 (すべての方へ) あなたはこの1年で、町内の「地域活動」(※)にどの程度参加されましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※「地域活動」とは、自治会、PTA、教育、青少年育成、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広い活動のことを言います。

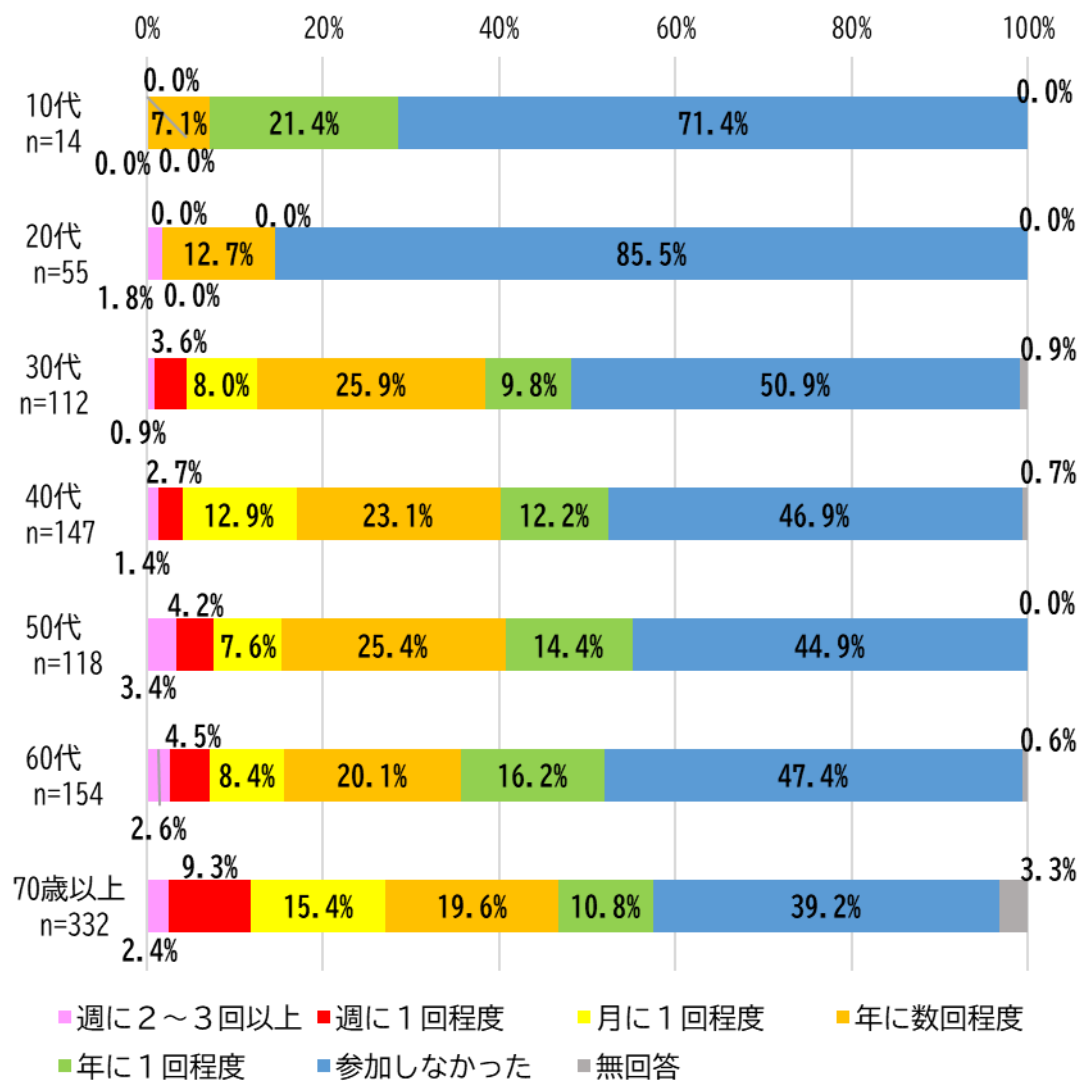
地域活動への参加について、「参加しなかった」が47.1%と最も多く半数近くを占めています。次いで、「年に数回程度」21.1%、「年に1回程度」11.9%となっています。



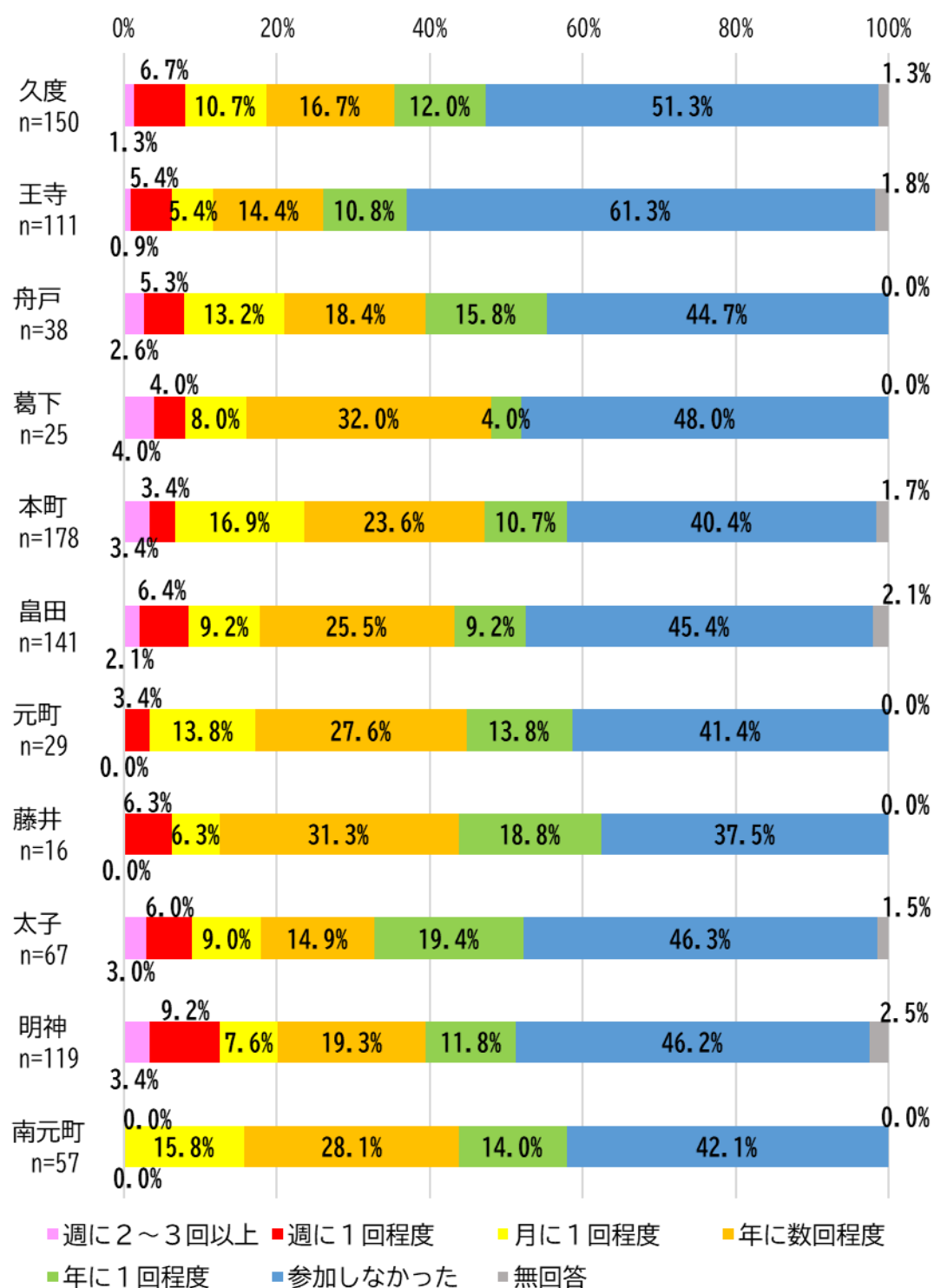
平成 29 年調査と比較して、「週に 2 ～ 3 回以上」「週に 1 回程度」「月に 1 回程度」「年に数回程度」で参加した人の割合が減少し、「参加しなかった」人の割合が大きく増加しています。これはコロナ禍により、地域活動自体が中止や規模縮小を余儀なくされることが影響していると考えられます。



年代別でみると、「月に1回以上」地域活動に参加した割合は、70歳以上が最も高く(27.1%)、次いで40代(17.0%)、60代(15.6%)、50代(15.3%)となっています。「参加しなかった」割合は、20代、10代で高くなっています。



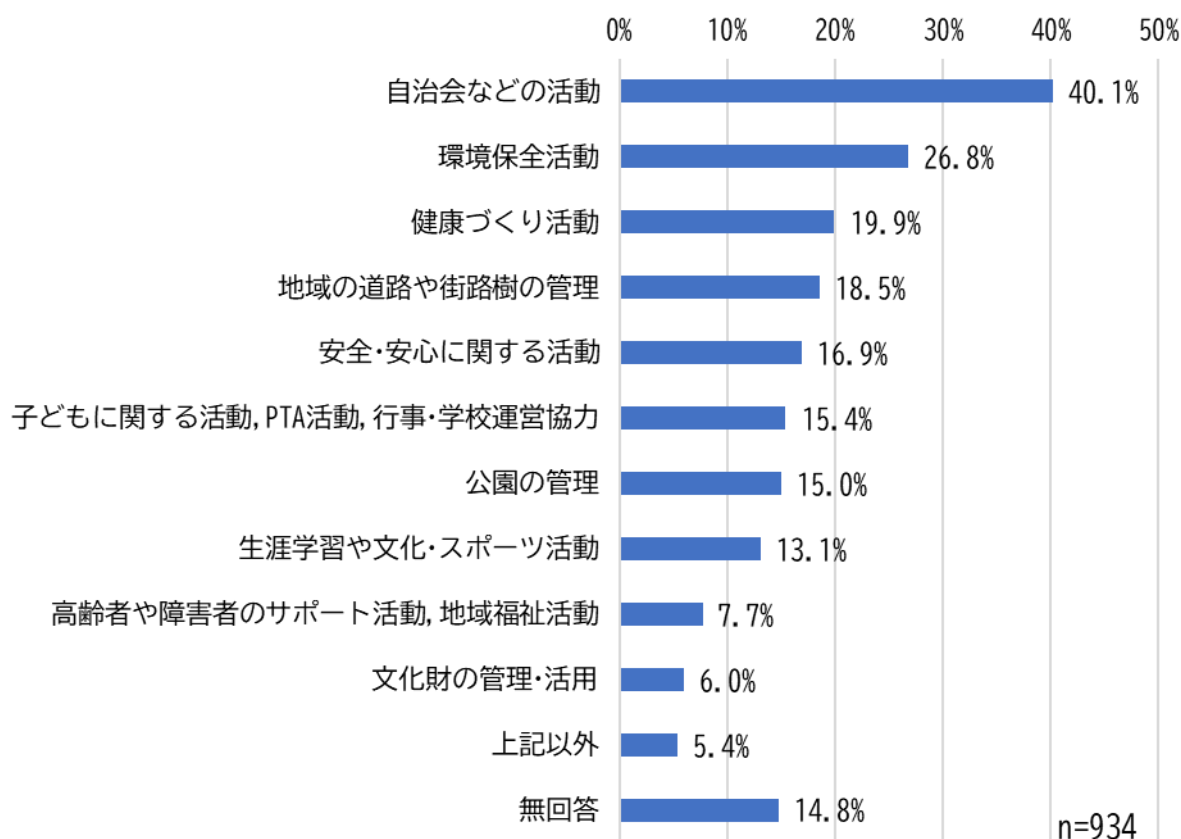
現住の地区別でみると、成果指標「月に1回以上」地域活動に参加した割合は、「本町」(23.6%)、「舟戸」(21.1%)、「明神」(20.2%) 地区が高くなっています。「参加しなかった」の割合は、「久度」、「王寺」地区で5割以上となっています。



（２）地域活動への参加 《複数回答》

問 19 （すべての方へ） 次の活動のうち「あなたが取り組めると思うもの」について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「取り組めると思う」活動について、「自治会などの活動」が 40.1%と最も多く、次いで、「環境保全活動」26.8%、「健康づくり活動」19.9%、「地域の道路や街路樹の管理」18.5%、「安全・安心に関する活動」16.9%、があげられています。



<選択肢の詳細>

- 自治会などの活動
- 環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など）
- 健康づくり活動（健康づくり教室への参加や実践、勉強会の開催など）
- 地域の道路や街路樹の管理（枝払い・草刈り・側溝清掃など）
- 安全・安心に関する活動（自主防災組織、災害ボランティア、子ども・高齢者の見守り活動、青色防犯パトロールや「あいさつ+1（プラスわん）」運動など）
- 子どもに関する活動（青少年健全育成活動、育児支援や子ども会活動、世代間交流など）、PTA活動、幼稚園行事や学校運営への協力・参画
- 公園の管理（公園内の草引き・清掃・植栽の管理など）
- 生涯学習や文化・スポーツ活動（講座の講師・イベントスタッフなど活動の運営・企画）
- 高齢者や障害者のサポート活動、地域福祉活動
- 文化財の管理・活用（史跡や建造物等文化財の管理・解説・案内など）

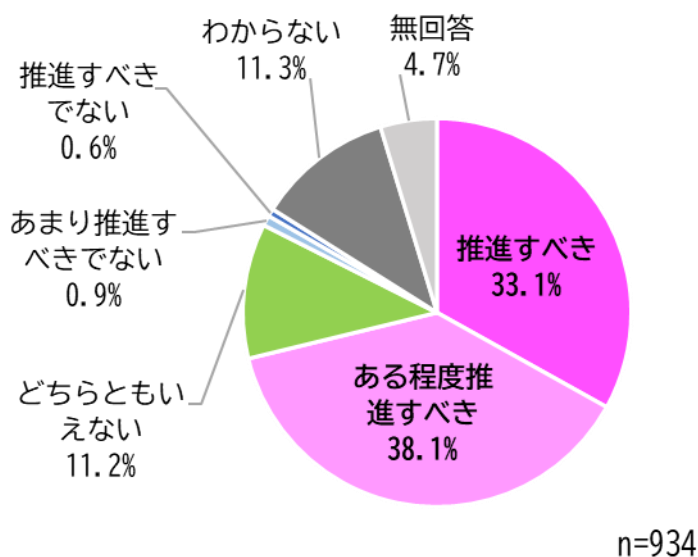
4. 協働によるまちづくり

(1) 協働によるまちづくりについて 《単数回答》

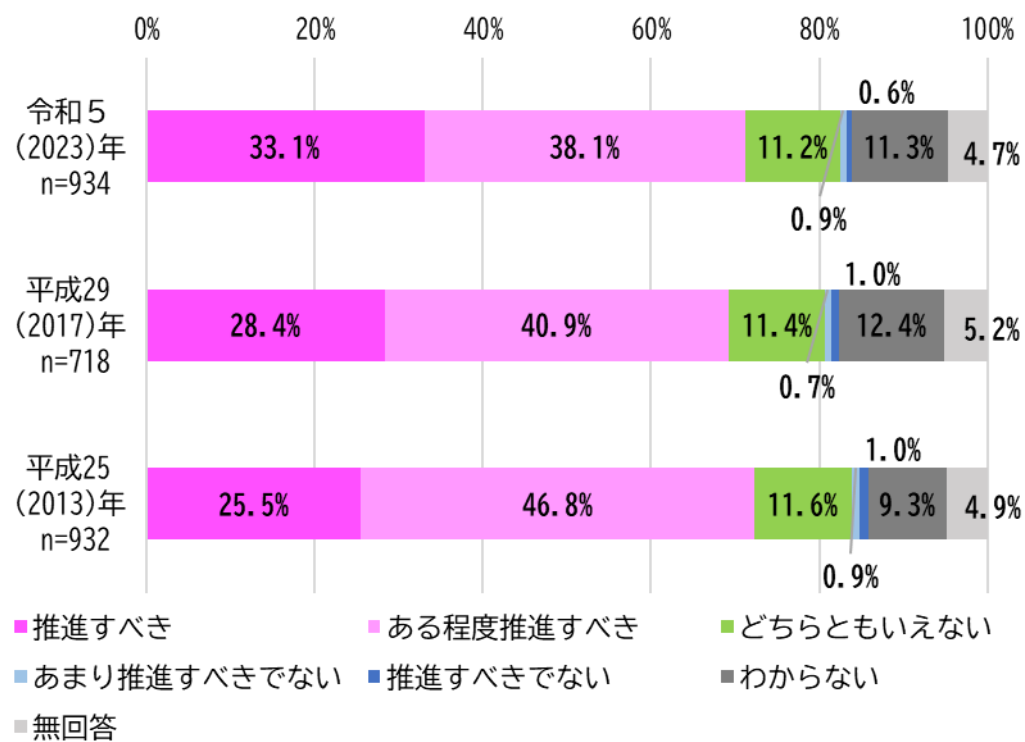
問 20 (すべての方へ) 協働によるまちづくり(地域社会を構成する多様な主体(※)が、ともに課題解決に取り組んでいくこと)についてどう考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※「多様な主体」とは、行政や町内で活動などを行っている自治会や各種団体・NPO法人などや、事業者・企業など。協働によるまちづくりは、行政と団体や企業、団体同士、団体と企業など、多様な主体が協力して地域の課題解決に取り組むことです。

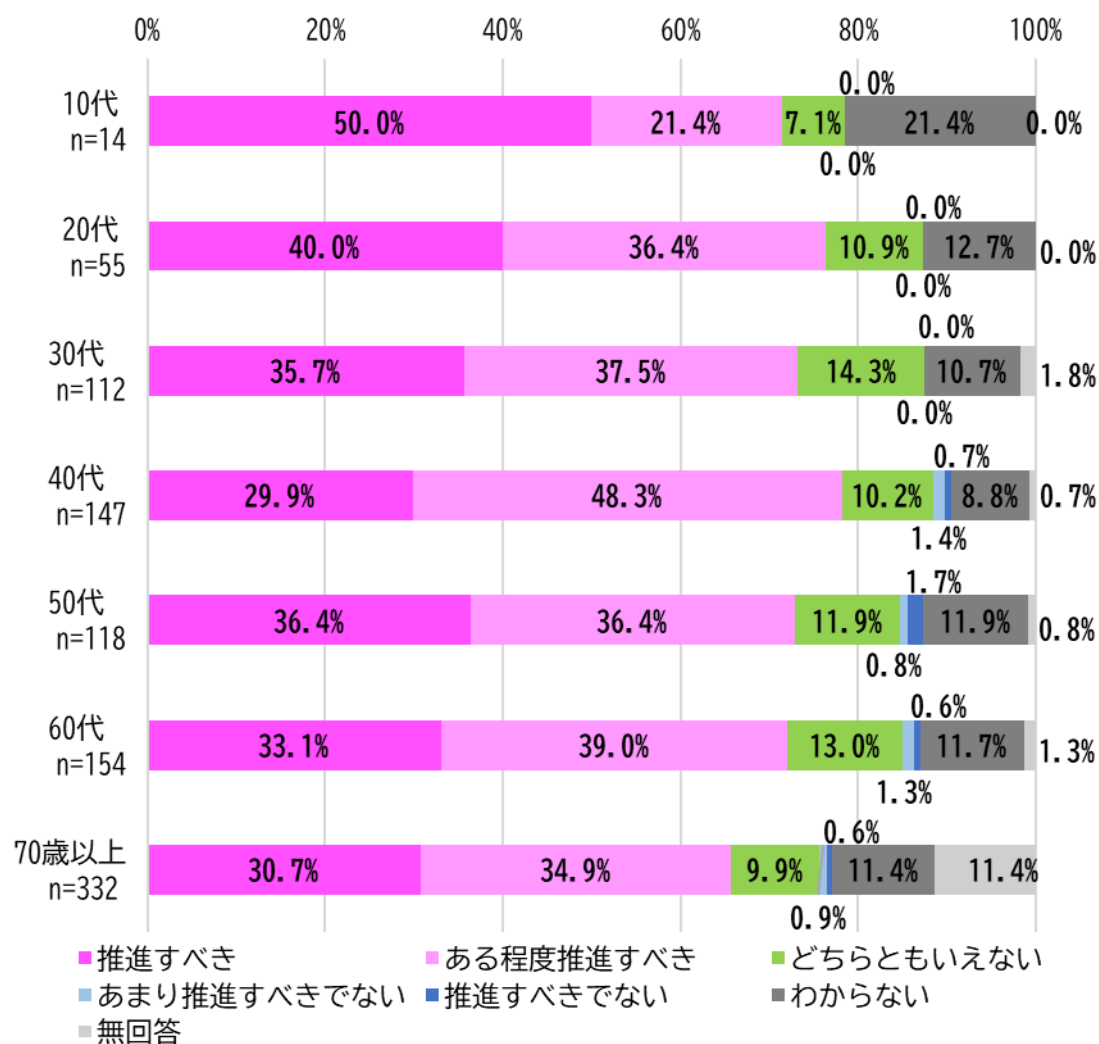
協働によるまちづくりについて、「推進すべき」33.1%と、「ある程度推進すべき」38.1%を合わせた、成果指標「協働のまちづくりを推進すべき」と回答した人の割合は71.2%となりました。



前回調査と比較して、「推進すべき」の割合が増加しています。



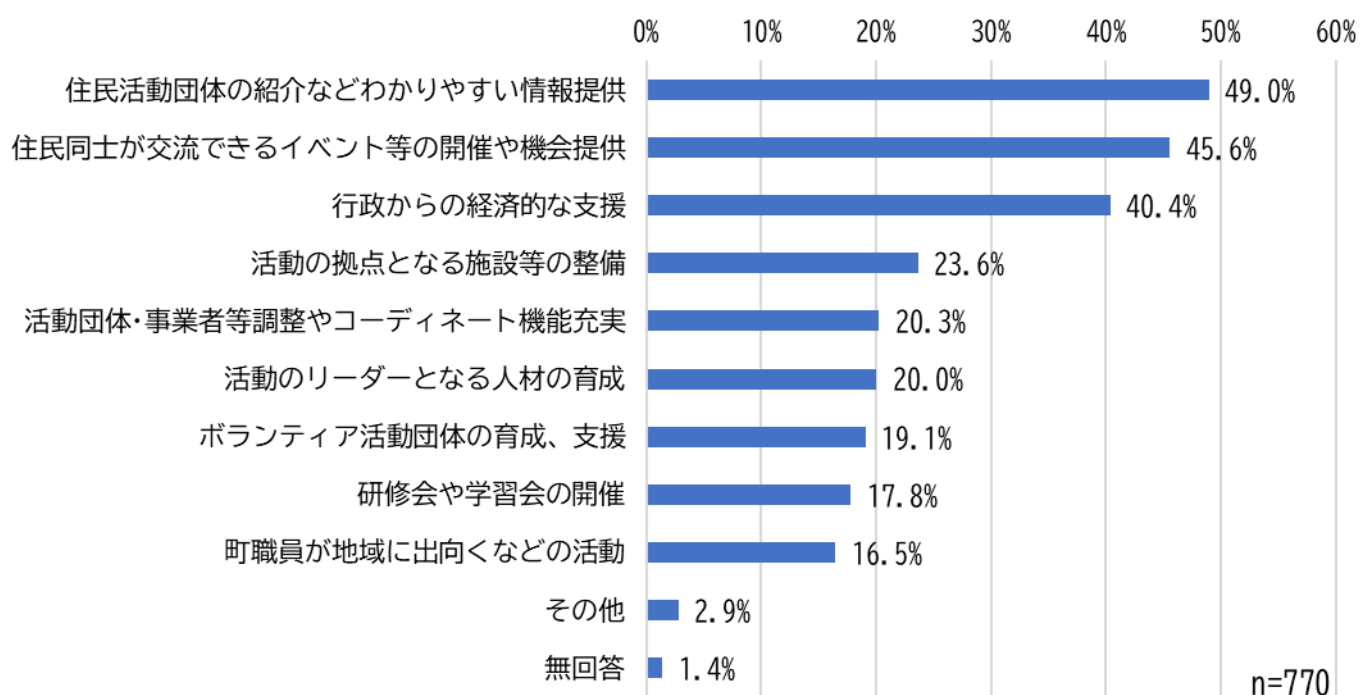
年代別でみると、成果指標となっている「協働のまちづくりを推進すべき」と回答した人の割合（「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計）は、40代（78.2%）、20代（76.4%）で高くなっています。



（２）協働を進めるために必要なこと 《複数回答》

問 21 問 20 で「1. 推進すべき」「2. ある程度推進すべき」「3. どちらともいえない」と答えた方におたずねします。協働を進めるために必要なことは何ですか。あてはまる番号を 3 つまで選んで○をつけてください。

協働を進めるために必要なことについては、「住民活動団体の紹介などわかりやすい情報提供」が 49.0%と最も多く、次いで、「住民同士が交流できるイベント等の開催や機会の提供」45.6%、「行政からの経済的な支援」40.4%、が多くあげられています。



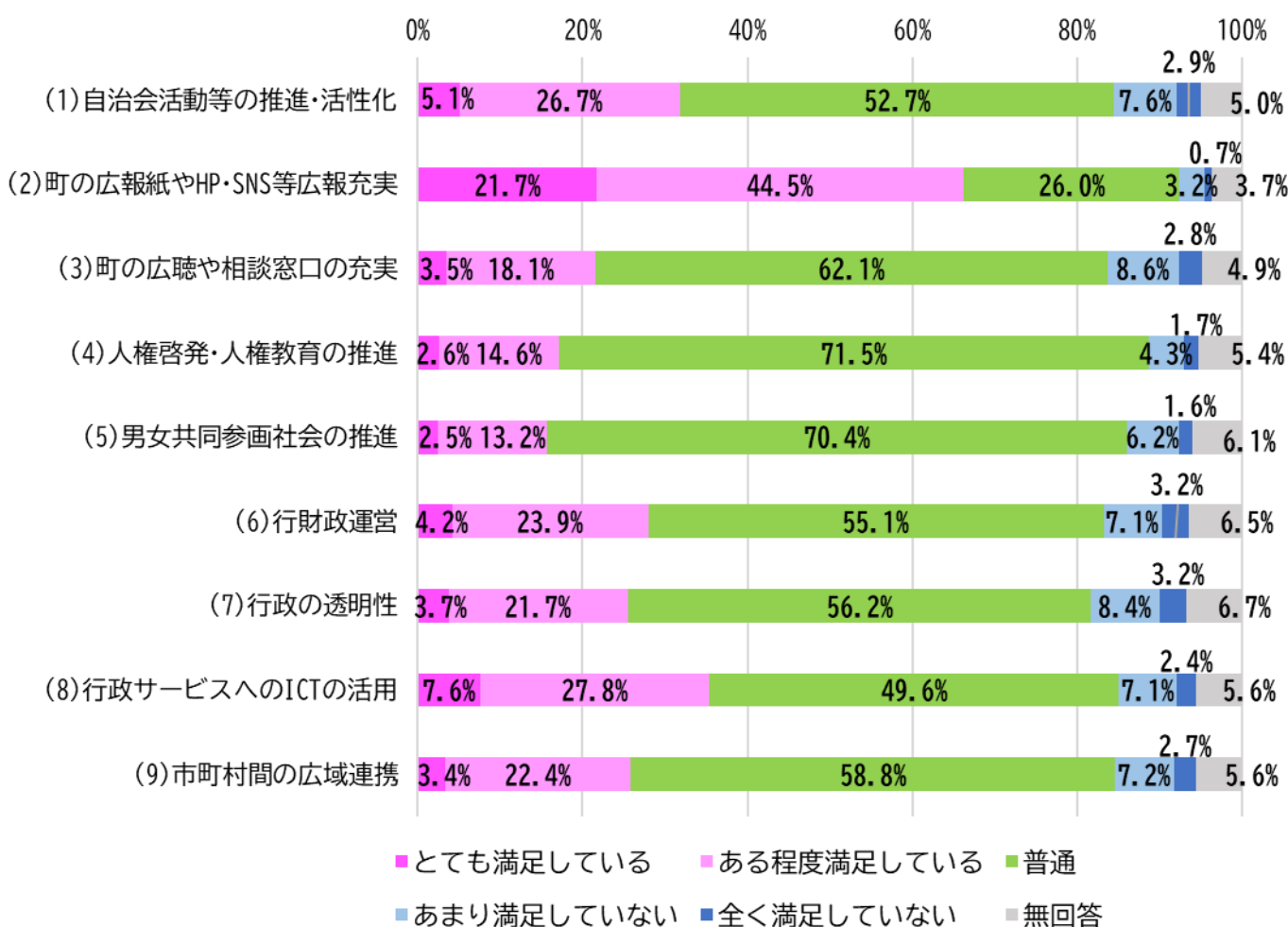
5. 王寺町の取組についての評価

問 22 (すべての方へ) 町の取組について、あなたは、①これまでの取組に満足していますか。また、②将来において重要だと思いますか。(各取組について、①②それぞれで、あてはまる番号1つに○)

(1) 住民に開かれ自立するまちづくり

①満足度

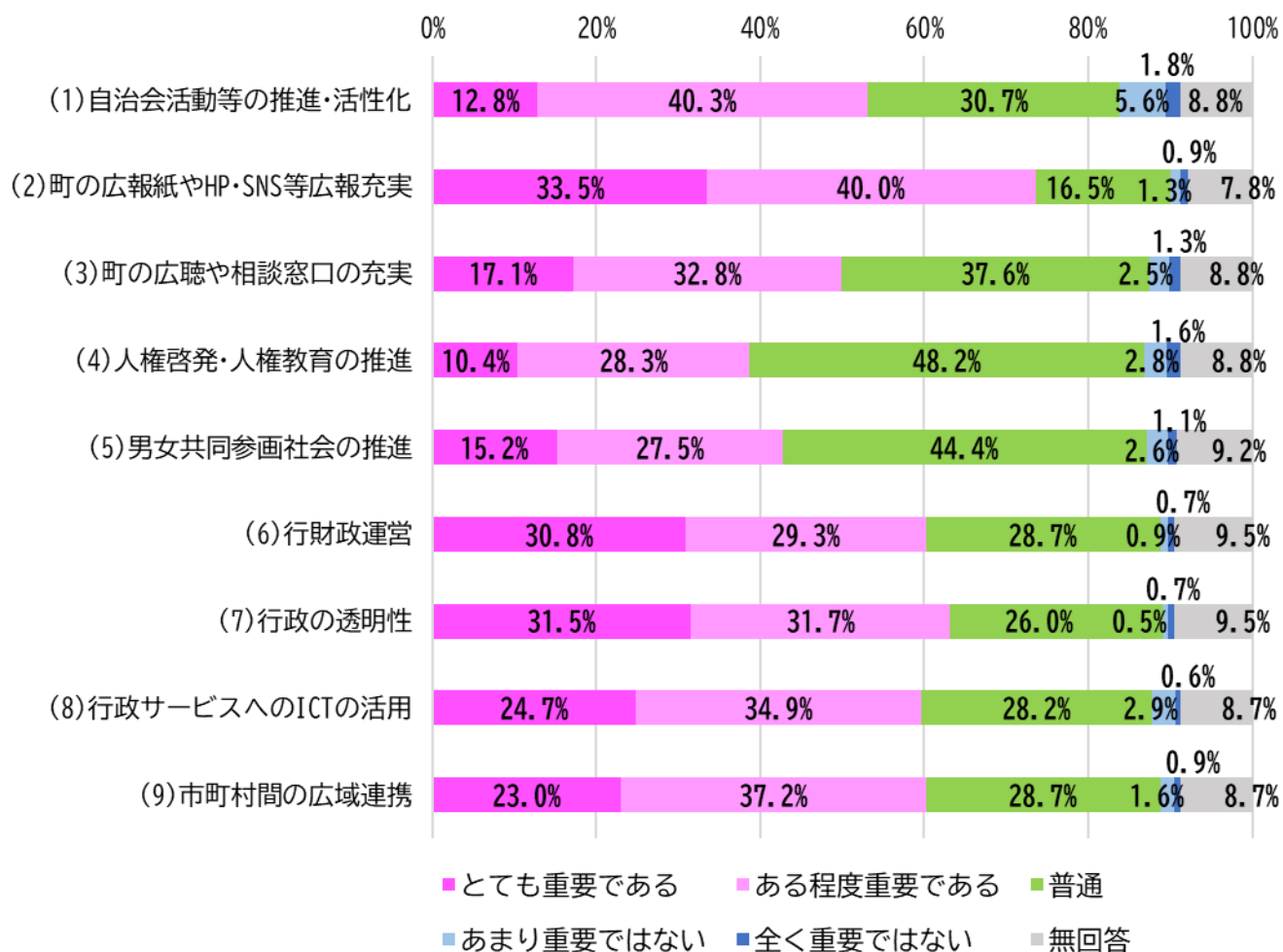
住民に開かれ自立するまちづくりに関する町の取組について現在の満足度は、「(2)町の広報紙やHP・SNS等広報充実」が「ある程度満足している」(44.5%)、「とても満足している」(21.7%)の割合がともに高く、これを合わせた満足度は66.3%となっています。次いで、満足度は「(8)行政サービスへのICTの活用」が35.4%、「(1)自治会活動等の推進・活性化」が31.8%となっています。



n=934

②重要度

住民に開かれ自立するまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「(2)町の広報紙やHP・SNS等広報充実」が、「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度が73.6%と高くなっています。次いで「(7)行政の透明性」の重要度が63.2%、「(9)市町村間の広域連携」の重要度が60.2%と高くなっています。

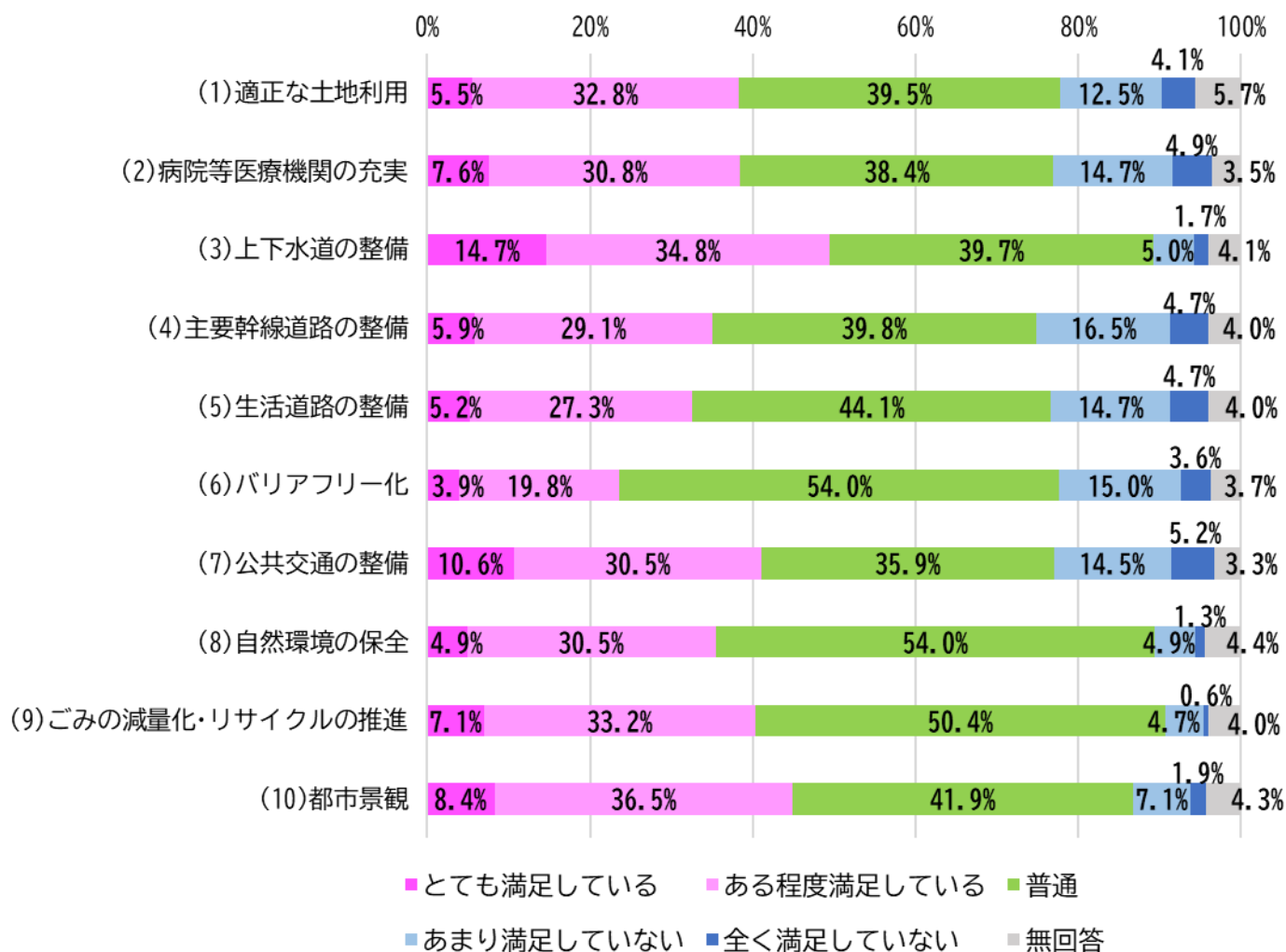


n=934

(2) 快適で暮らしやすいまちづくり

①満足度

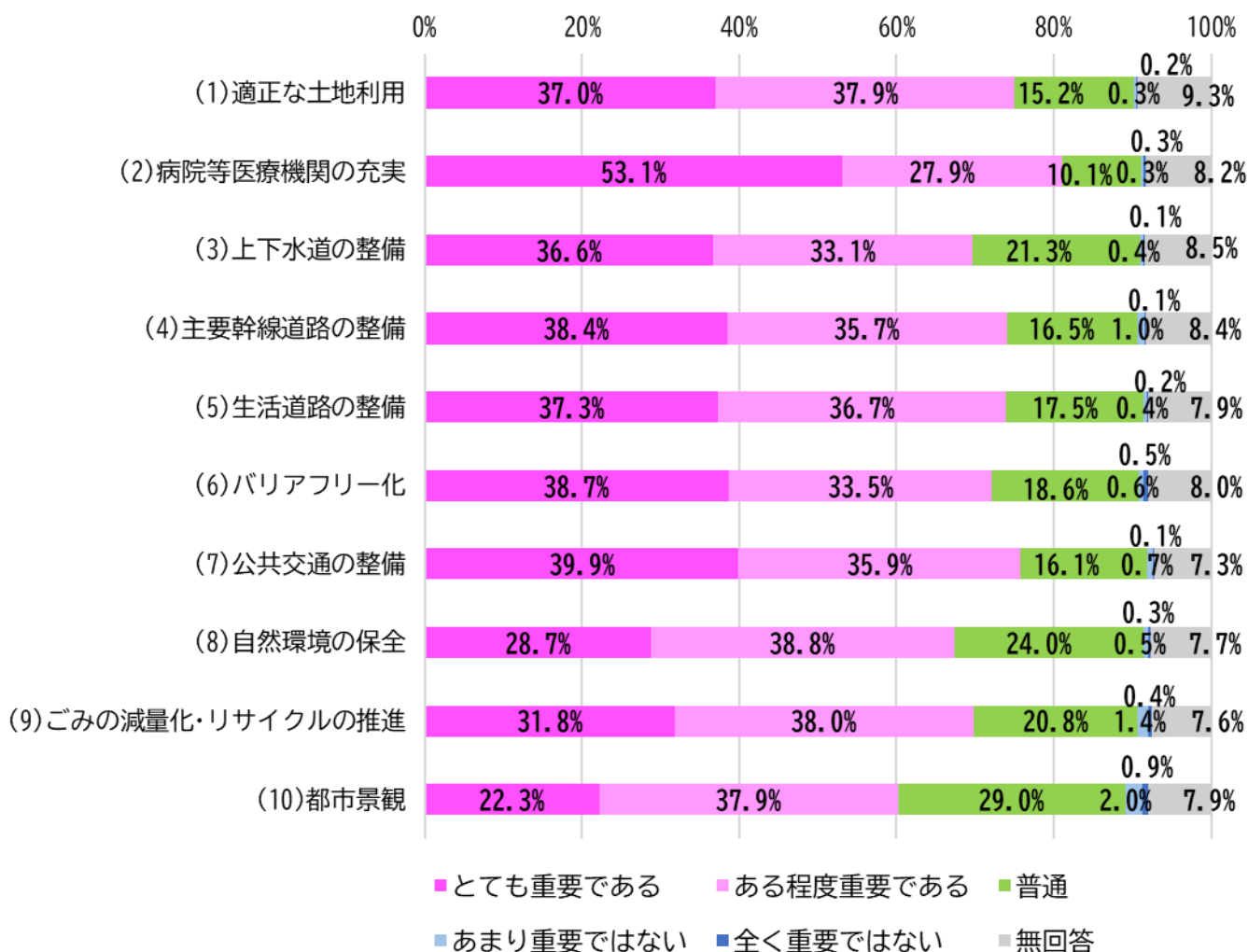
快適で暮らしやすいまちづくりに関する町取組について現在の満足度は、「(3)上下水道の整備」が、「ある程度満足している」「とても満足している」の割合を合わせた満足度が49.5%と高くなっています。



n=934

②重要度

快適で暮らしやすいまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「(2)病院等医療機関の充実」が「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度が81.0%と高くなっています。次いで、「(7)公共交通の整備」が重要度が75.8%と高くなっています。

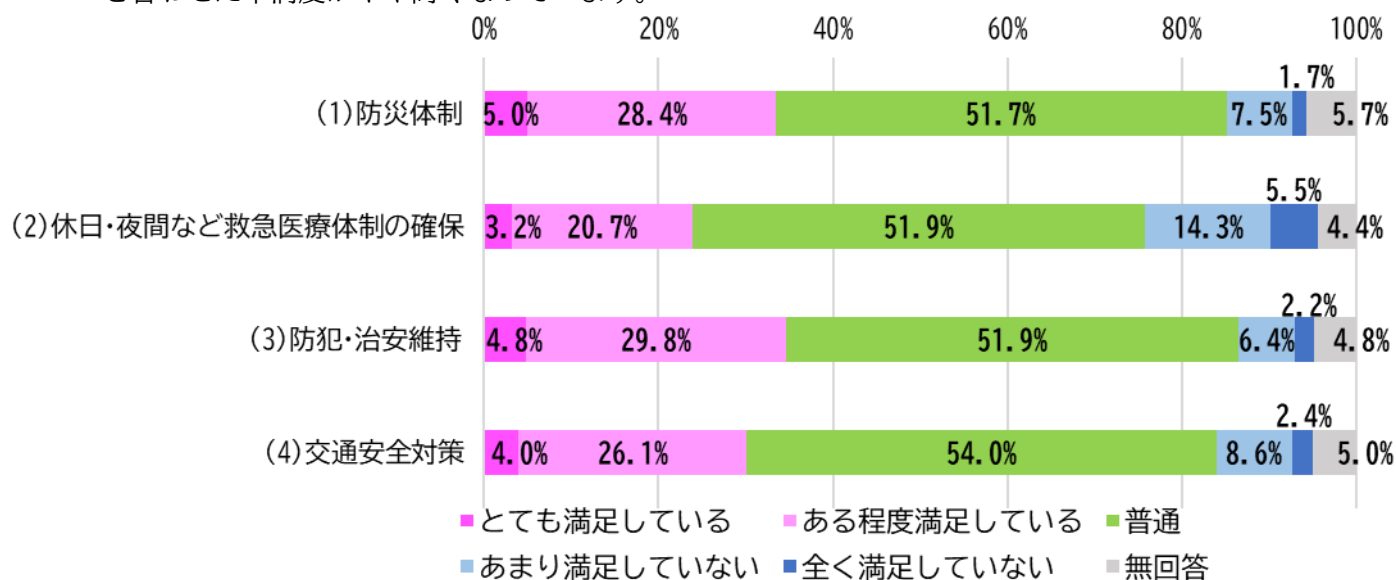


n=934

(3) 安全で安心に暮らせるまちづくり

①満足度

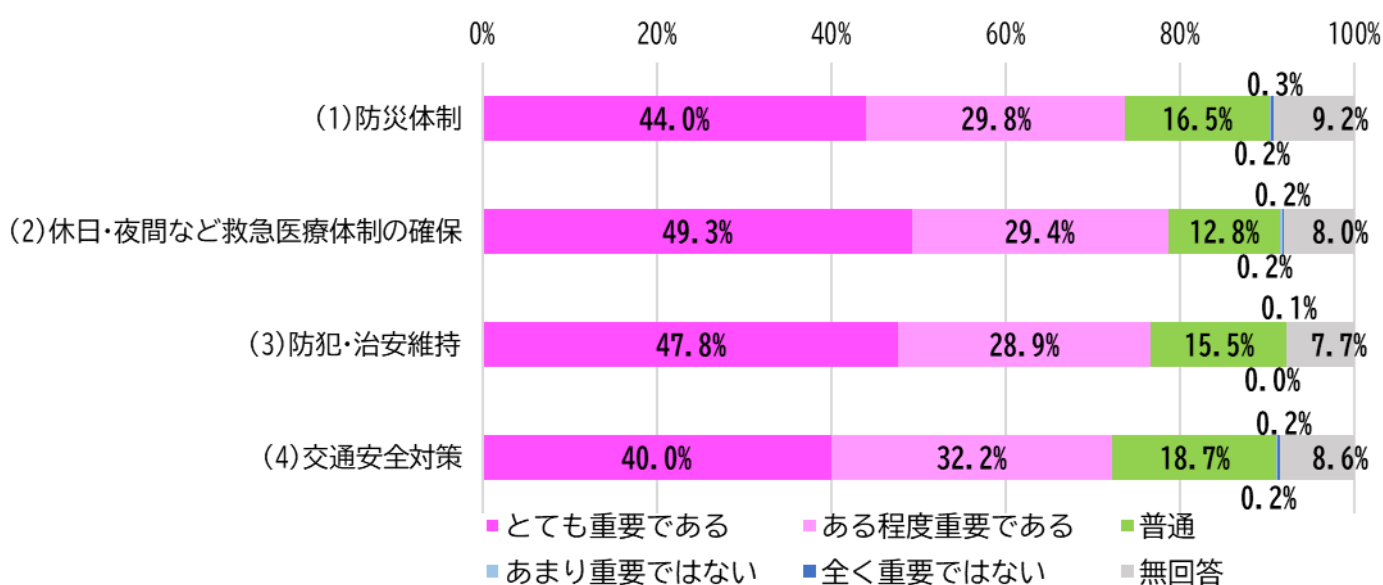
安全で安心に暮らせるまちづくりに関する町の取組について現在の満足度は、「(2)休日・夜間など救急医療体制の確保」が、「全く満足していない」(5.5%)「あまり満足していない」(14.3%)を合わせた不満度がやや高くなっています。



n=934

②重要度

安全で安心に暮らせるまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「(2)休日・夜間など救急医療体制の確保」が「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度が78.7%と高くなっています。

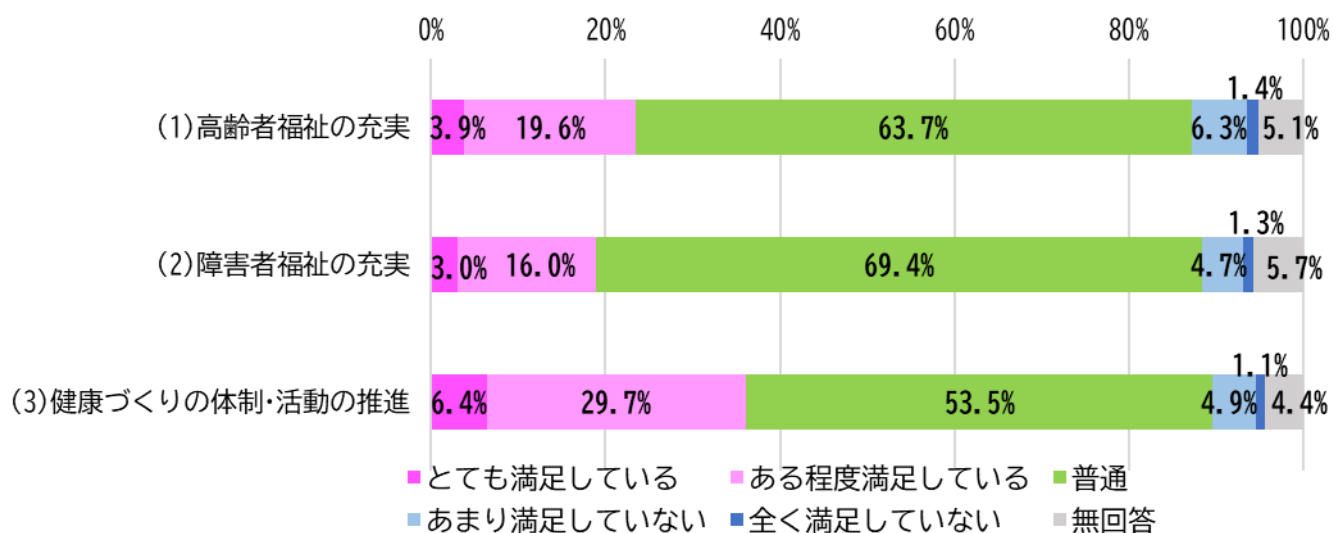


n=934

(4) 健やかに暮らせるまちづくり

①満足度

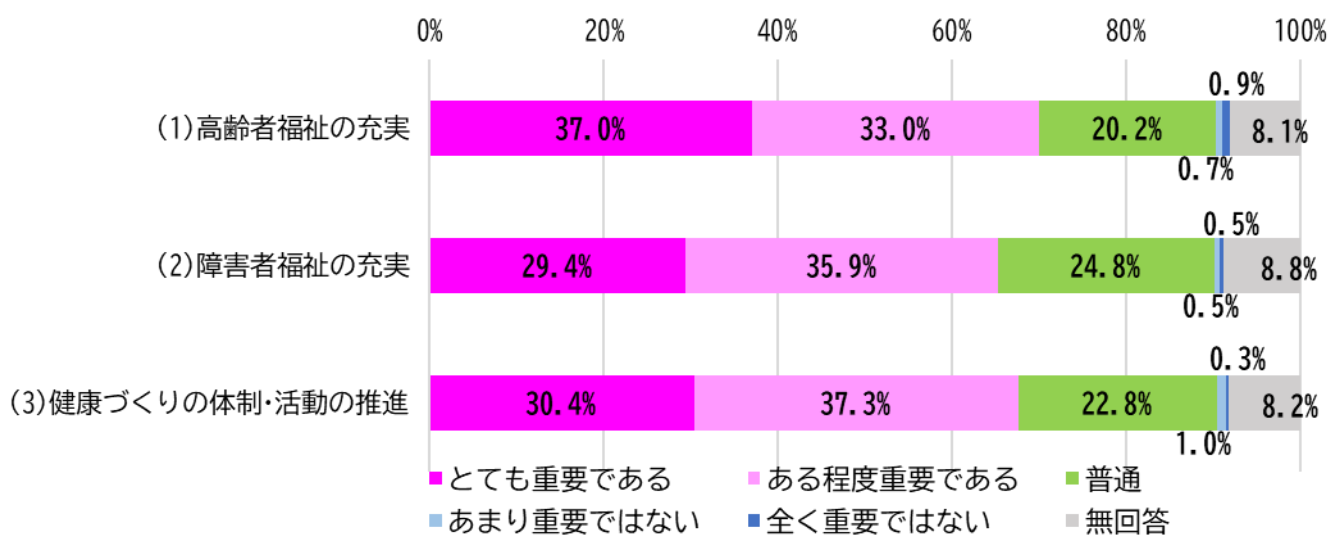
健やかに暮らせるまちづくりに関する町の取組について現在の満足度は、「(3)健康づくりの体制・活動の推進」が、「ある程度満足している」「とても満足している」の割合を合わせた満足度が36.1%と比較的高くなっています。



n=934

②重要度

健やかに暮らせるまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「(1)高齢者福祉の充実」が「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度が70.0%と高くなっています。

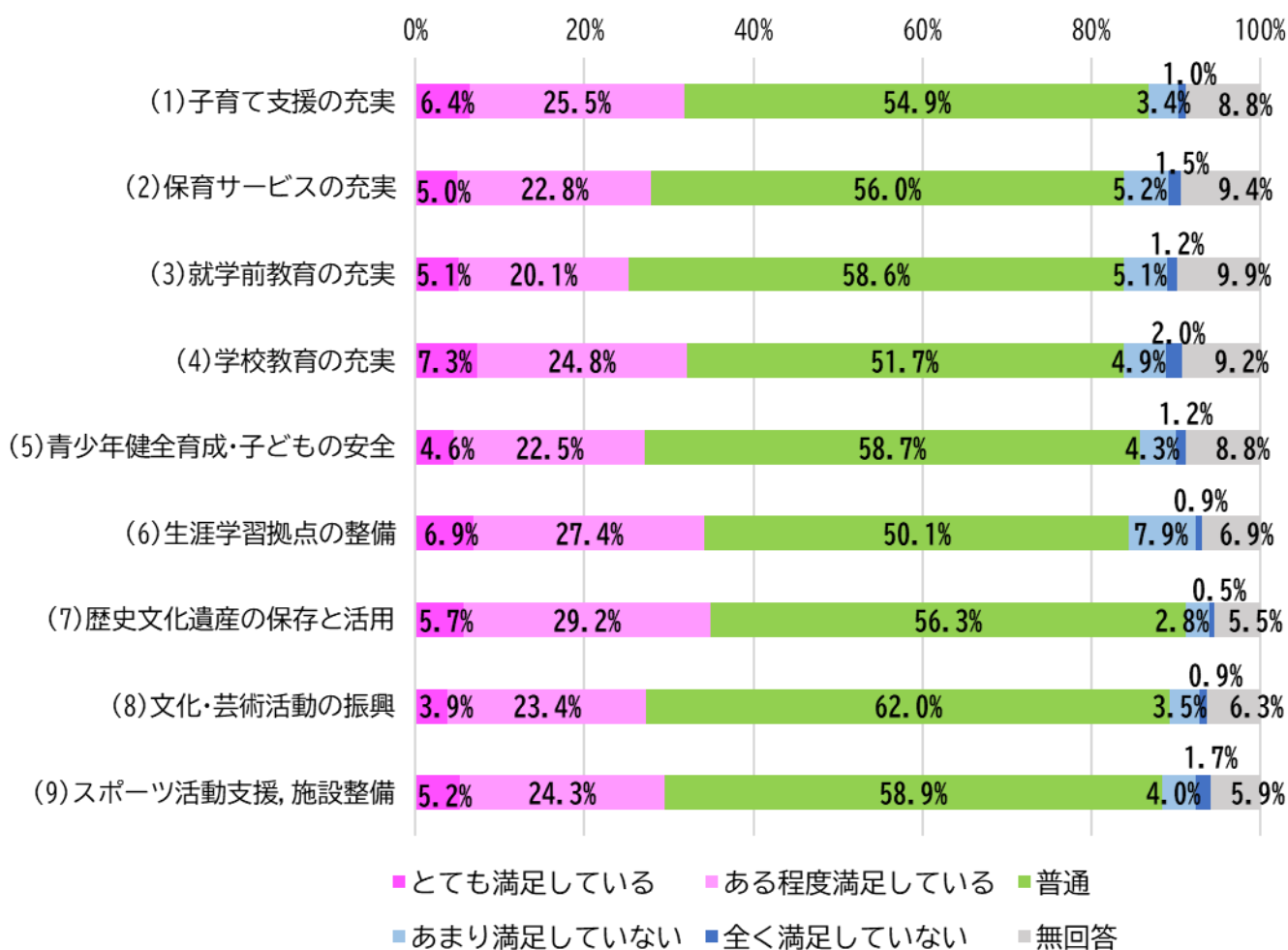


n=934

（５）人を育みみんなが学べるまちづくり

①満足度

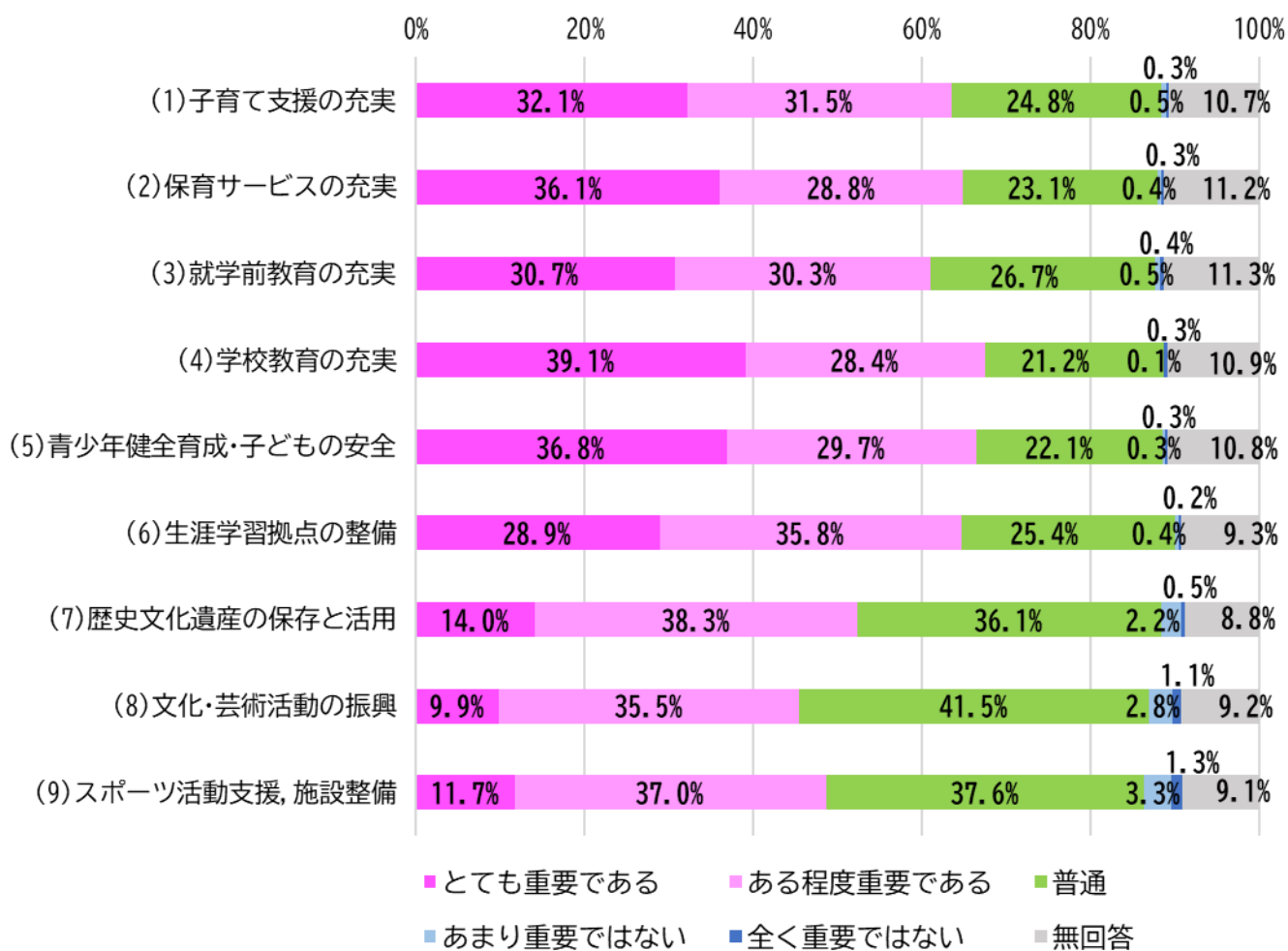
人を育みみんなが学べるまちづくりに関する町の取組について現在の満足度は、「ある程度満足している」「とても満足している」の割合を合わせた満足度をみると、「(7)歴史文化遺産の保存と活用」が34.9%、「(6)生涯学習拠点の整備」が34.3%、「(4)学校教育の充実」が32.1%、「(1)子育て支援の充実」が31.9%と比較的高くなっています。



n=934

②重要度

人を育みみんなが学べるまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度をみると、「(4)学校教育の充実」が 67.5%、「(5)青少年健全育成・子どもの安全確保」が 66.5%、「(2)保育サービスの充実」が 64.9%、「(6)生涯学習拠点の整備」が 64.7%と比較的高くなっています。

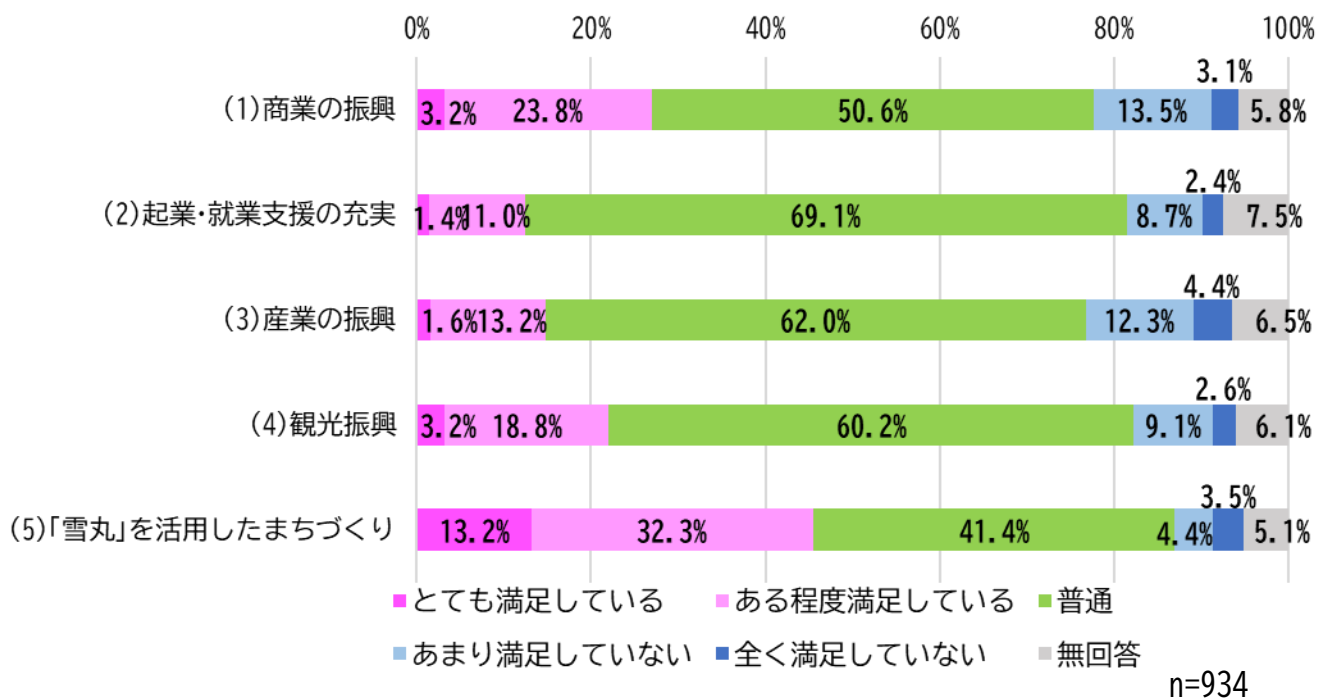


n=934

（６）活力とにぎわいのあるまちづくり

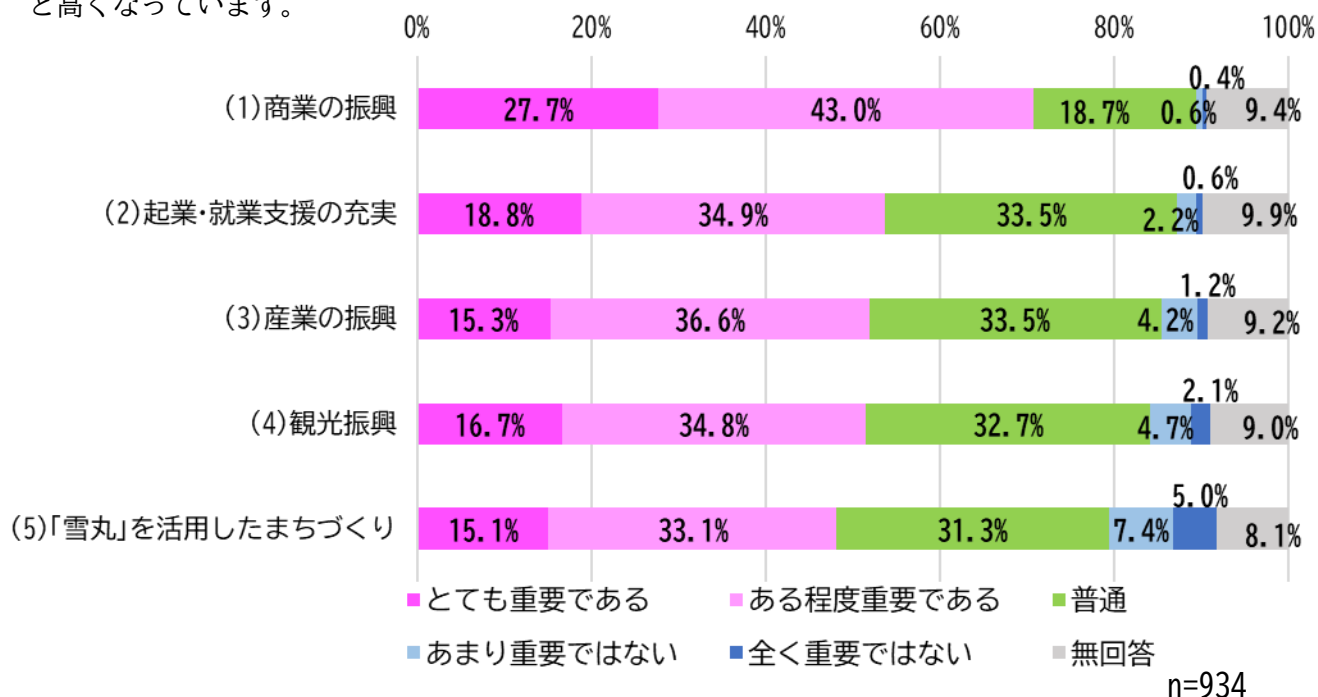
①満足度

活力とにぎわいのあるまちづくりに関する町の取組について現在の満足度は、「ある程度満足している」「とても満足している」の割合を合わせた満足度をみると、「(5)「雪丸」を活用したまちづくり」が45.5%と高くなっています。



②重要度

活力とにぎわいのあるまちづくりに関する町の取組について今後の重要度は、「ある程度重要である」「とても重要である」の割合を合わせた重要度をみると、「(1)商業の振興」が70.8%と高くなっています。



(7) スコア値による分析

スコア値については、回答結果を以下の基準でポイント化したものです。

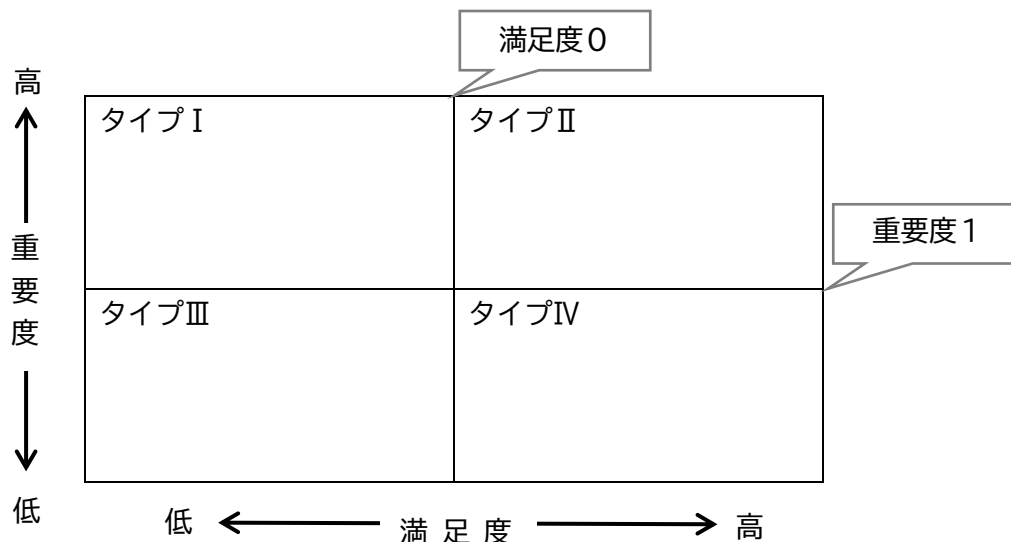
回答肢	満足度	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない
	重要度	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
スコア値		+2点	+1点	0点	-1点	-2点

※スコア値の算出方法：各回答肢の回答数に上記スコア値を乗算し、その総和を回答数合計で除算することにより算出。

<例（満足度）>

$$\{(とても満足(人) \times 2) + (ある程度満足(人) \times 1) + (普通(人) \times 0) + (あまり満足していない(人) \times (-1)) + (全く満足していない(人) \times (-2))\} \div \{(とても満足(人)) + (ある程度満足(人)) + (普通(人)) + (あまり満足していない(人)) + (全く満足していない(人))\}$$

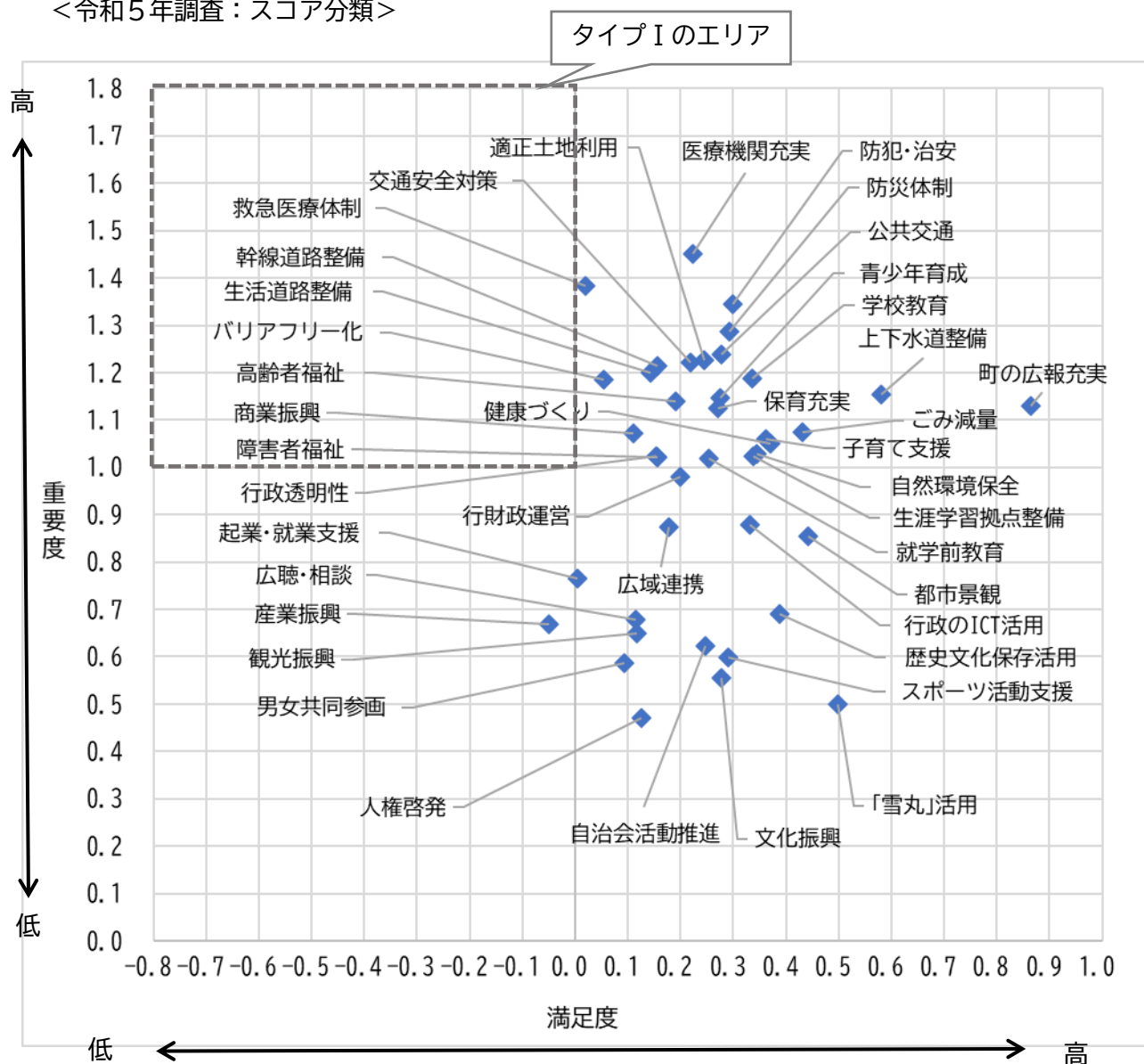
算出したスコア値を、「満足度0」、「重要度1」を基準として、4つのタイプに分類しました。



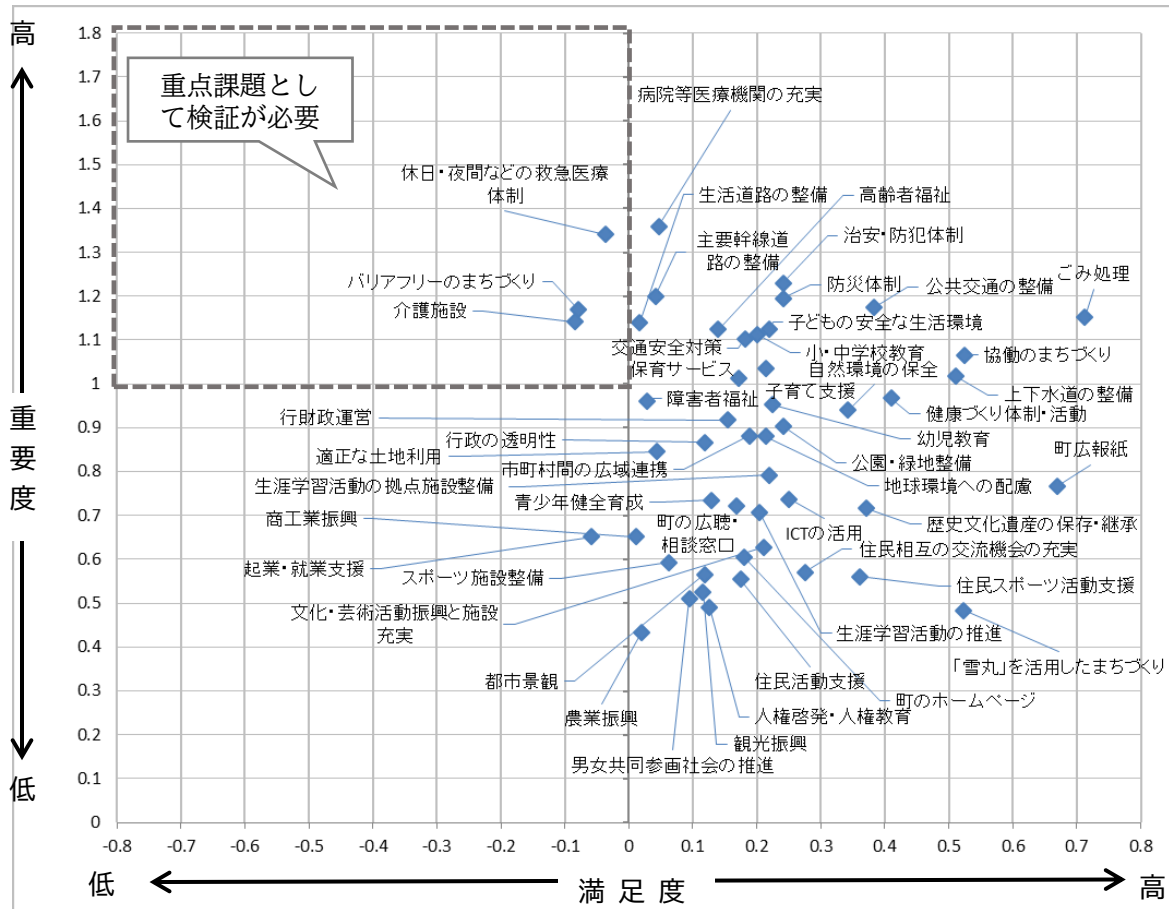
タイプⅠ	タイプⅠは、満足度が低いが、重要度は高くなっています。今後の重点課題として検証が必要なタイプです。
タイプⅡ	タイプⅡは、満足度が高く、重要度も高くなっています。事業の継続実施が必要なタイプです。
タイプⅢ	タイプⅢは、満足度が低く、重要度も低くなっています。満足度及び重要度の低さについての検証が必要なタイプです。
タイプⅣ	タイプⅣは、満足度が高いが、重要度は低くなっています。施策の充実によりある程度満足度が高いタイプです。

前回調査と比較すると、満足度のスコア値がマイナスの値となった項目が減り、「産業振興」-0.05のみとなりました。このため、重点課題として検証が必要タイプⅠに分類される取組項目はありません。

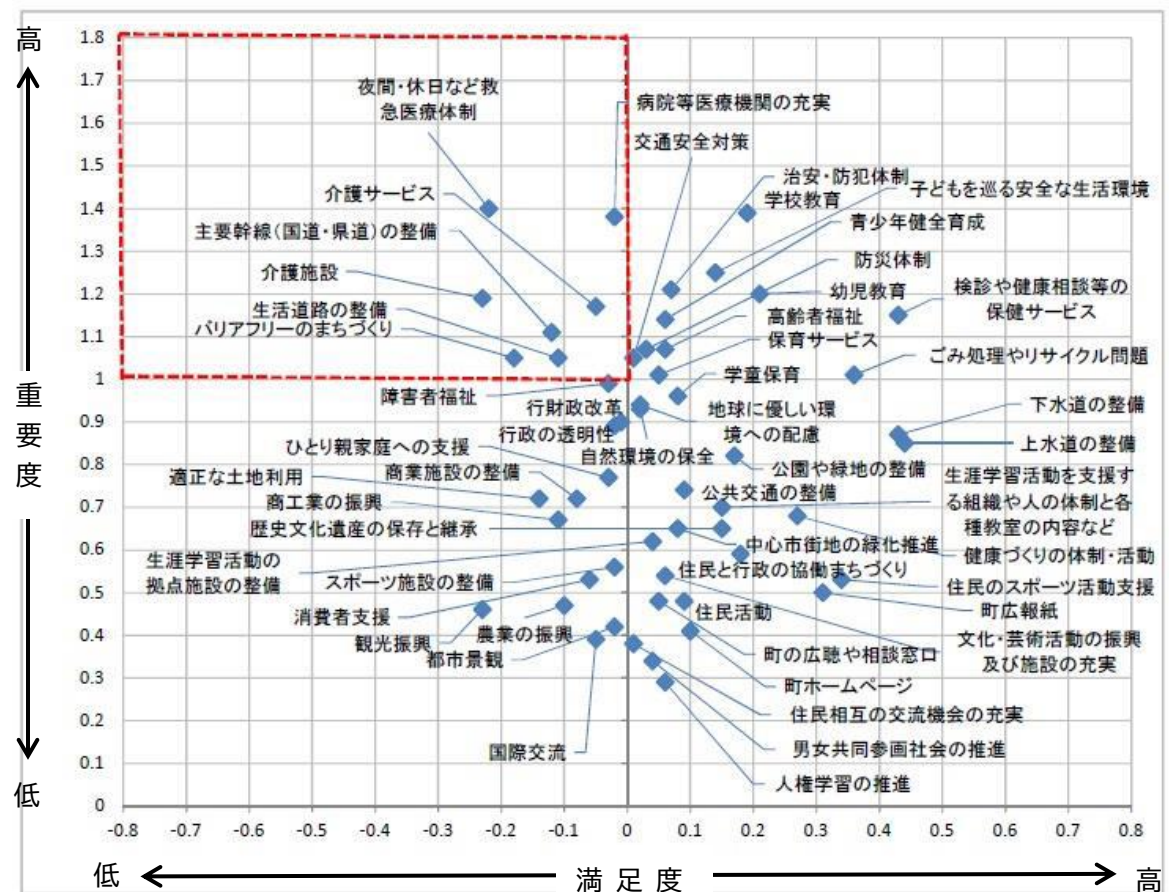
<令和5年調査：スコア分類>



＜平成 29 年調査：スコア分類＞



＜平成 25 年調査：スコア分類＞



町の実施の満足度をスコア値にすると、「町の広報紙や HP・SNS 等広報充実」「上下水道の整備」「雪丸」を活用したまちづくり」「都市景観」「ごみ減量化・リサイクル推進」が上位となりました。

<令和5年：満足度スコア値上位5項目>

	取 組	満足度
1	町の広報紙や HP・SNS 等広報充実	0.87
2	上下水道の整備	0.58
3	「雪丸」を活用したまちづくり	0.50
4	都市景観	0.44
5	ごみ減量化・リサイクル推進	0.43

<過去調査：満足度スコア値上位5項目>

	平成 29 年		平成 25 年	
	取 組	満足度	取 組	満足度
1	ごみ処理	0.71	上水道の整備	0.44
2	町広報紙	0.67	検診や健康相談等の保健サービス	0.43
3	協働のまちづくり	0.52	下水道の整備	0.43
4	「雪丸」を活用したまちづくり	0.52	ごみ処理やリサイクル問題	0.36
5	上下水道の整備	0.51	住民のスポーツ活動支援	0.34

<令和5年：満足度スコア値下位5項目>

	取 組	満足度
1	産業の振興	-0.05
2	起業・就業支援の充実	0.00
3	(休日・夜間)救急医療体制確保	0.02
4	バリアフリー化	0.05
5	男女共同参画社会の推進	0.09

<過去調査：満足度スコア値下位5項目>

	平成 29 年		平成 25 年	
	取 組	満足度	取 組	満足度
1	介護施設	-0.08	介護施設	-0.23
2	バリアフリーのまちづくり	-0.08	観光振興	-0.23
3	起業・就業支援	-0.06	夜間・休日など救急医療体制	-0.22
4	休日・夜間などの救急医療体制	-0.04	バリアフリーのまちづくり	-0.18
5	商工業振興	0.01	適正な土地利用	-0.14

町の取組の重要度をスコア値にすると、「病院等医療機関の充実」「（休日・夜間）救急医療体制確保」「防犯・治安維持」「防災体制」「公共交通の整備」が上位となりました。

<令和5年：重要度スコア値上位5項目>

	取 組	重要度
1	病院等医療機関の充実	1.45
2	（休日・夜間）救急医療体制確保	1.38
3	防犯・治安維持	1.35
4	防災体制	1.29
5	公共交通の整備	1.24

<過去調査：重要度スコア値上位5項目>

	平成 29 年		平成 25 年	
	取 組	重要度	取 組	重要度
1	病院等医療機関の充実	1.36	夜間・休日など救急医療体制	1.40
2	休日・夜間などの救急医療体制	1.34	学校教育	1.39
3	治安・防犯体制	1.23	病院等医療機関の充実	1.38
4	主要幹線道路の整備	1.20	子どもを巡る安全な生活環境	1.25
5	防災体制	1.20	治安・防犯体制	1.21

<令和5年：重要度スコア値下位5項目>

	取 組	重要度
1	人権啓発・人権教育の推進	0.47
2	「雪丸」を活用したまちづくり	0.50
3	文化・芸術活動の振興	0.55
4	男女共同参画社会の推進	0.59
5	スポーツ活動支援、スポーツ施設整備	0.60

<過去調査：重要度スコア値下位5項目>

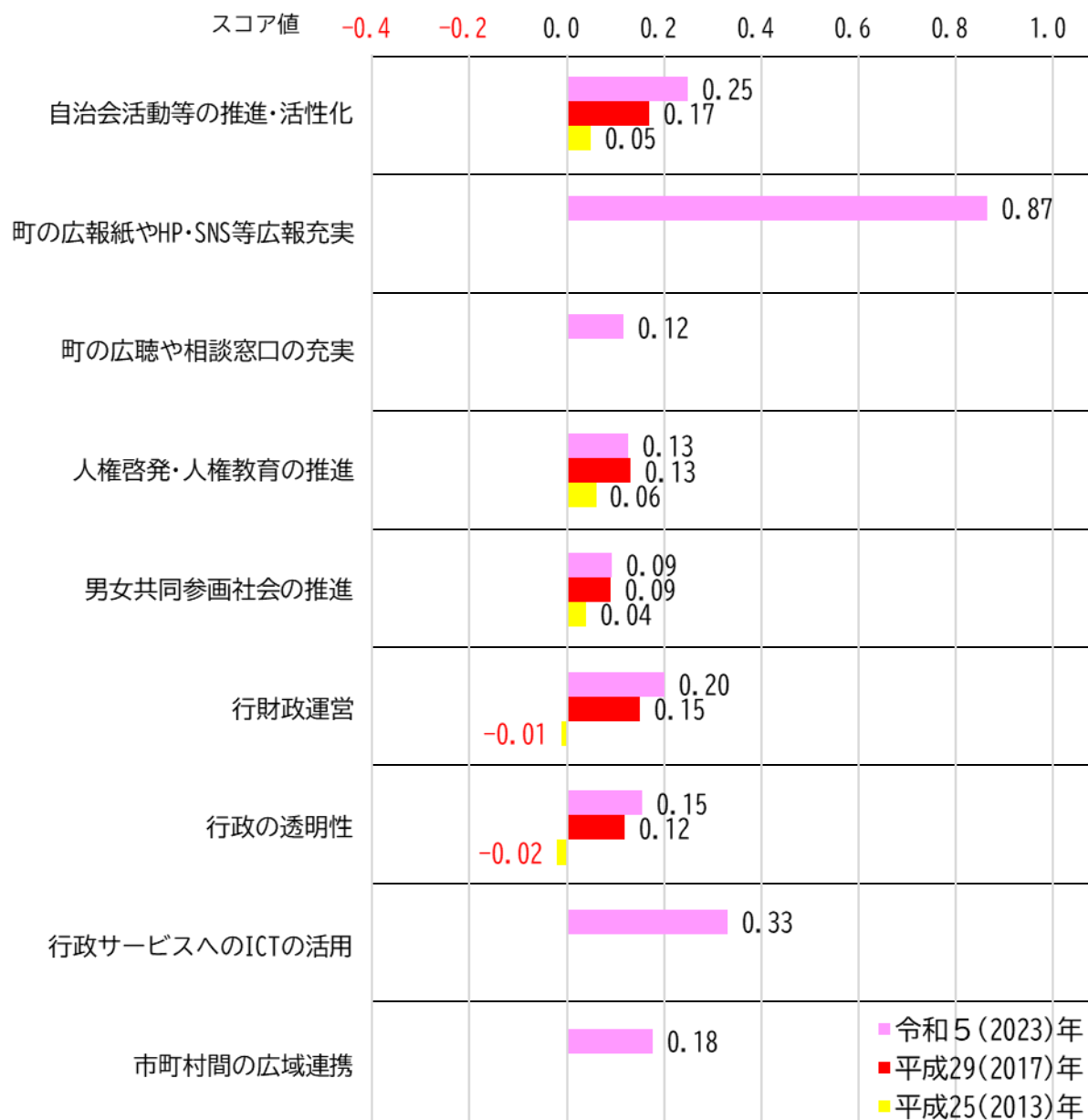
	平成 29 年		平成 25 年	
	取 組	重要度	取 組	重要度
1	農業振興	0.43	人権学習の推進	0.29
2	「雪丸」を活用したまちづくり	0.48	男女共同参画社会の推進	0.34
3	人権啓発・人権教育	0.49	住民相互の交流機会の充実	0.38
4	男女共同参画社会の推進	0.51	国際交流	0.39
5	観光振興	0.53	町ホームページ	0.41

過去調査と比較すると、満足度では、「適正な土地利用」「病院等医療機関の充実」「都市景観」のスコア値が高くなっています。「ごみ減量化・リサイクル推進」は、平成29年調査よりも低くなっています。

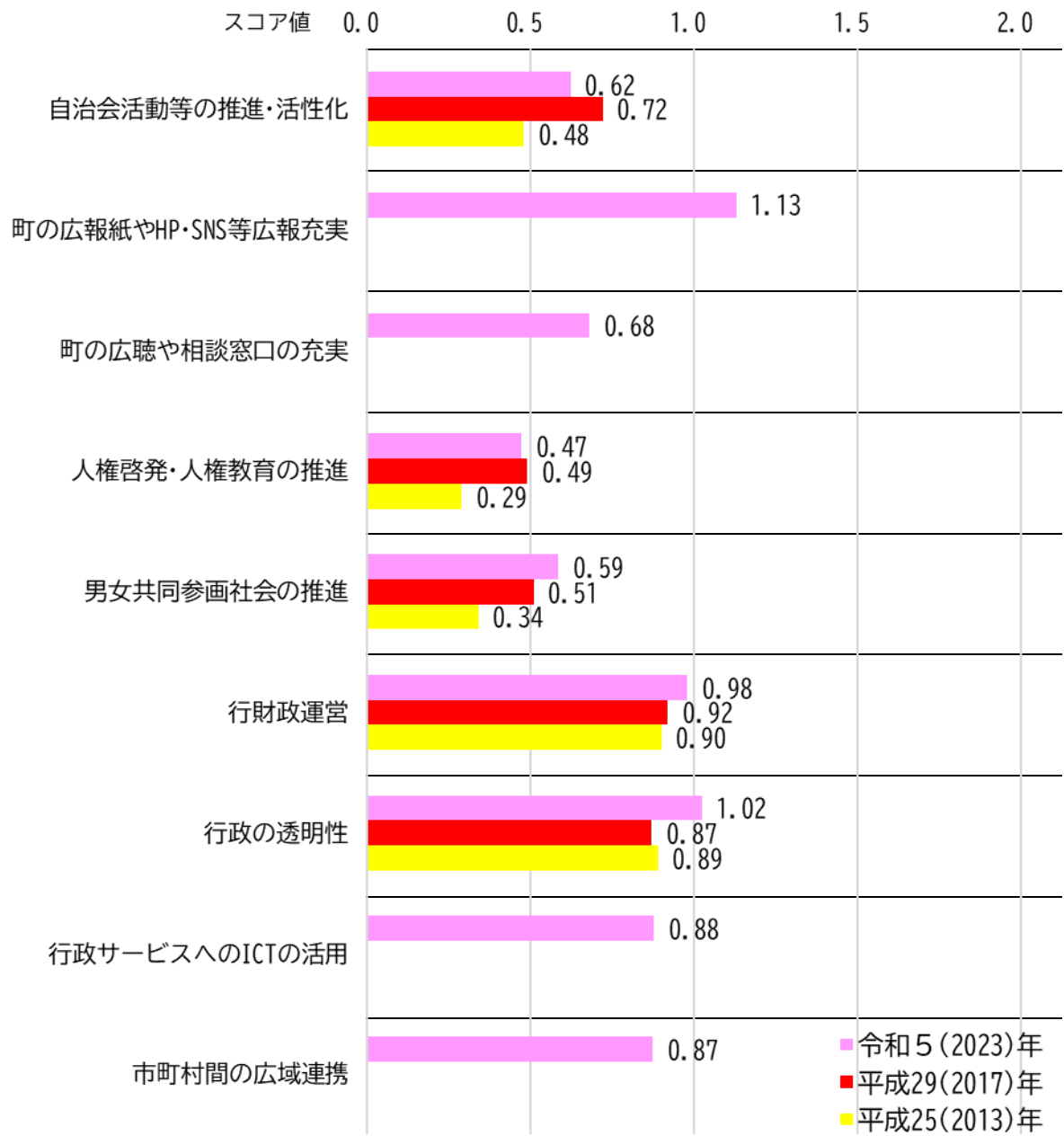
重要度では、「適正な土地利用」「都市景観」「商業の振興」のスコア値が高くなっています。

①住民に開かれ自立するまちづくり

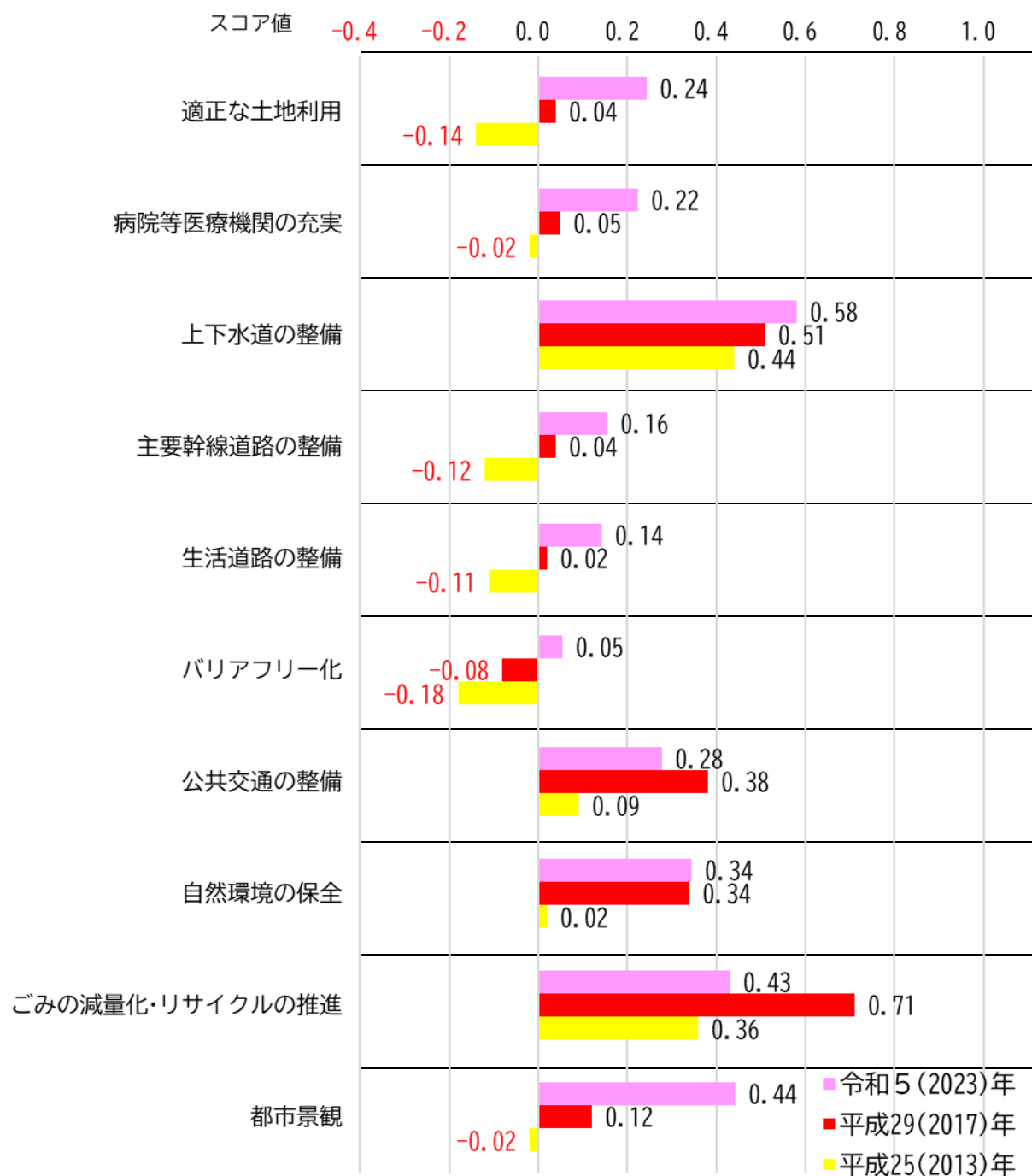
<満足度スコア値>



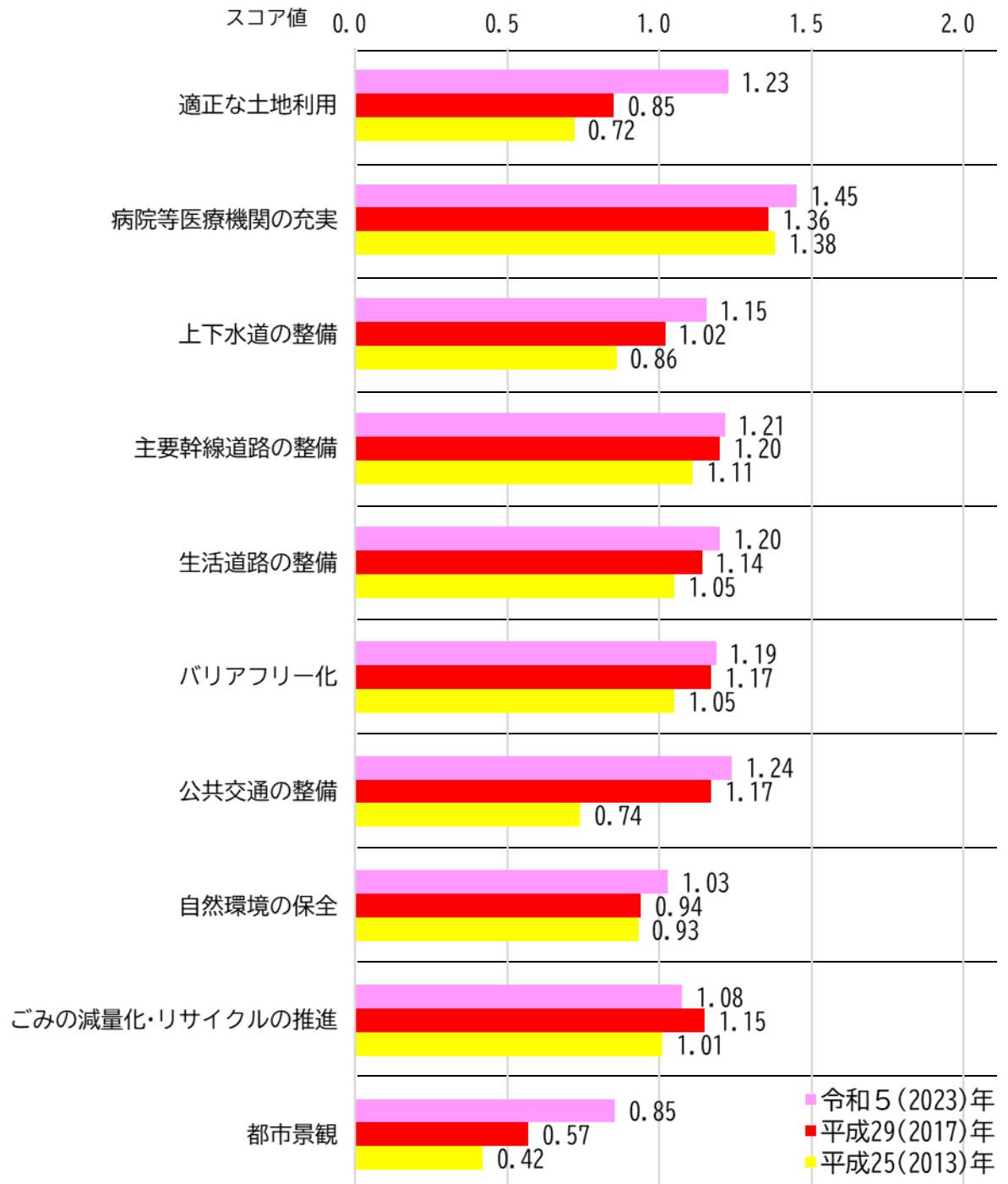
<重要度スコア値>



②快適で暮らしやすいまちづくり
 <満足度スコア値>

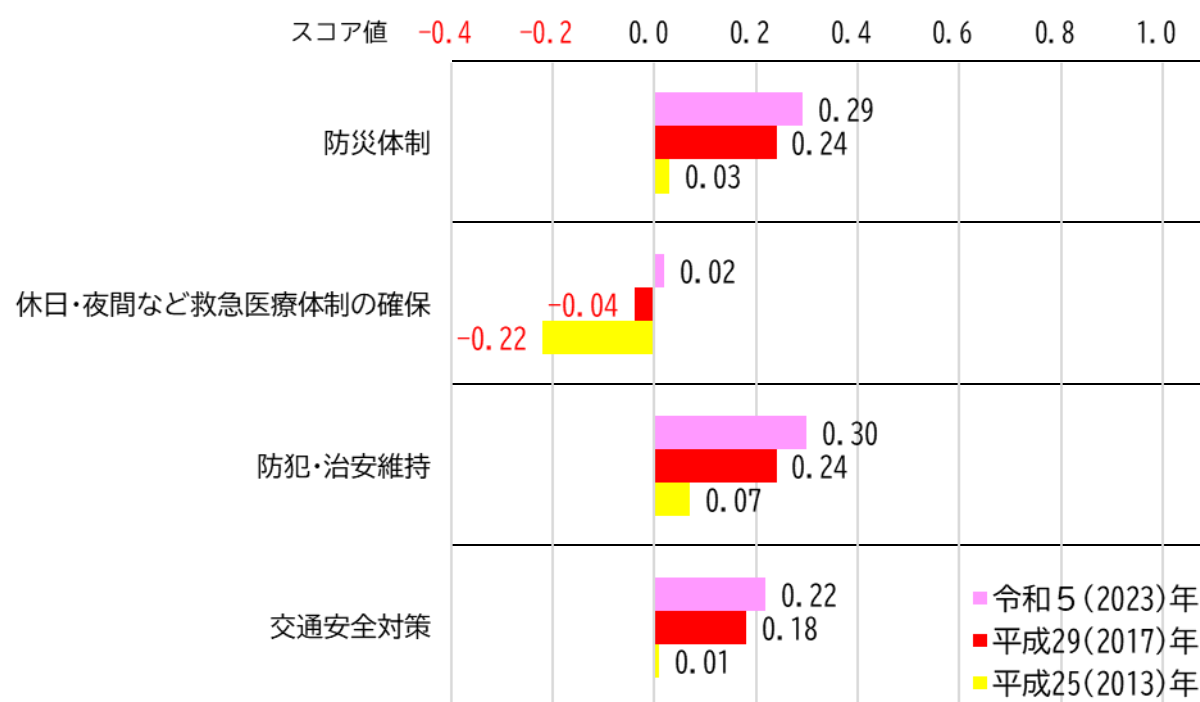


<重要度スコア値>

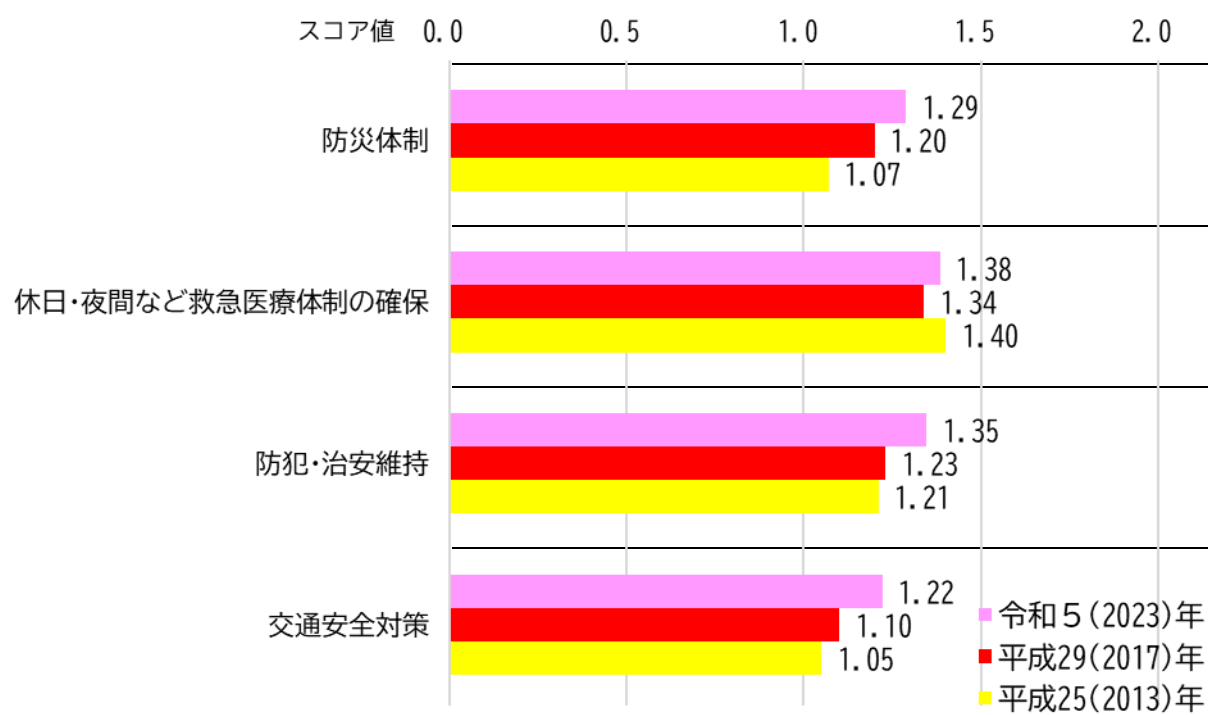


③安全で安心して暮らせるまちづくり

<満足度スコア値>

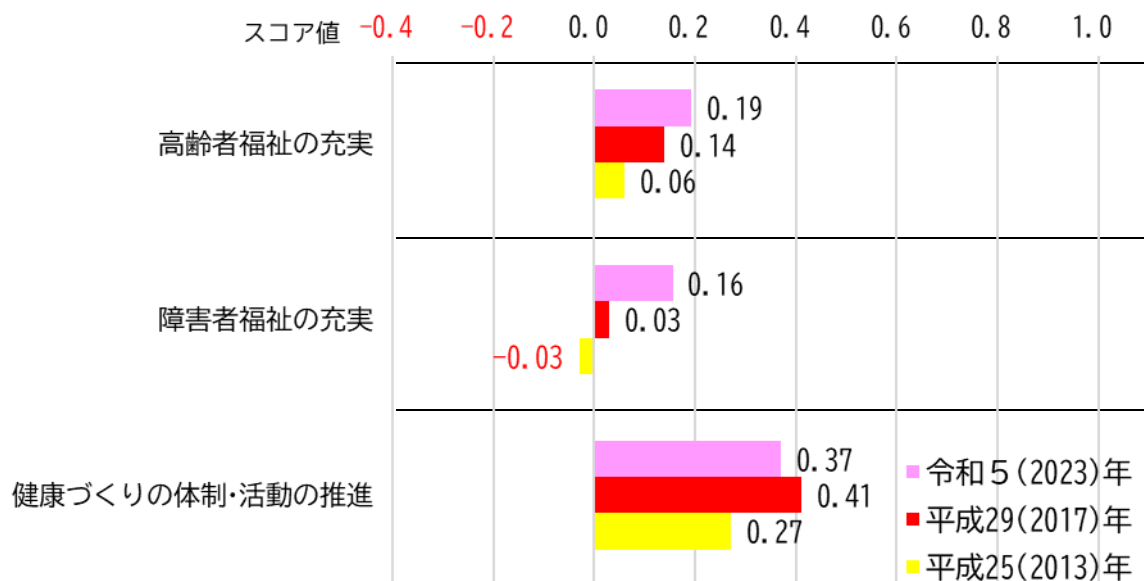


<重要度スコア値>

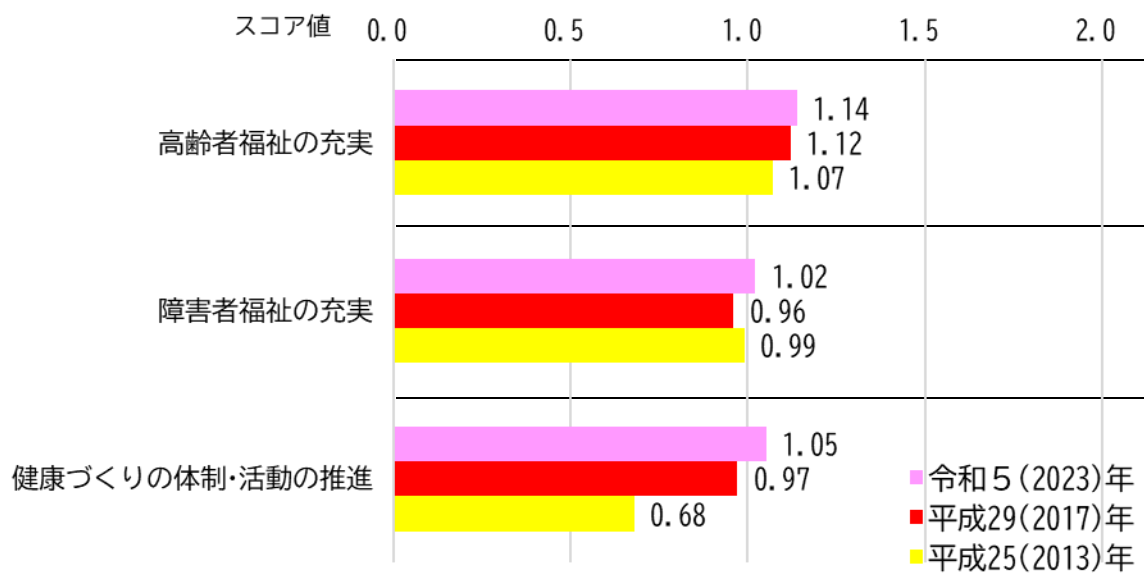


④健やかに暮らせるまちづくり

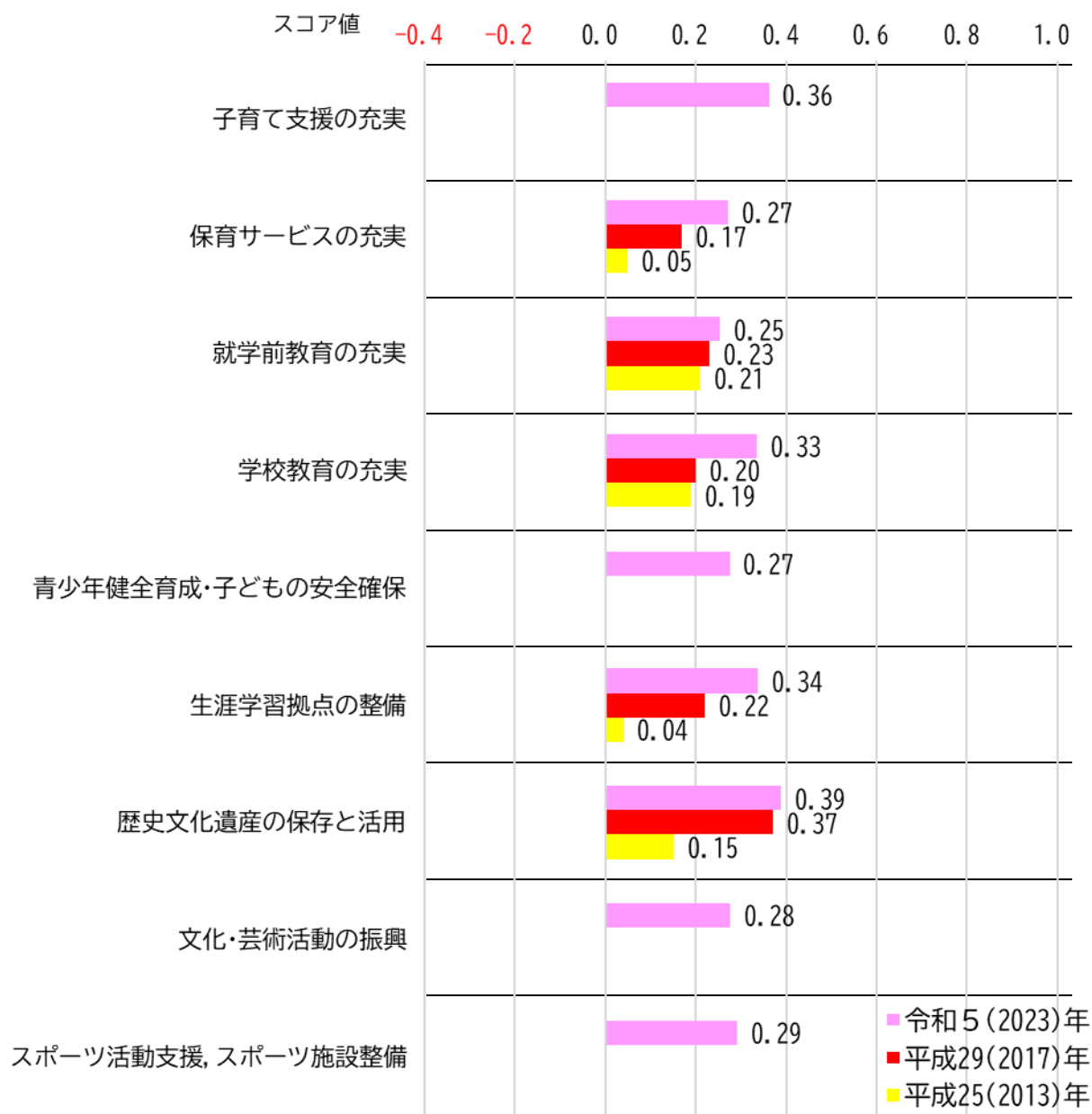
<満足度スコア値>



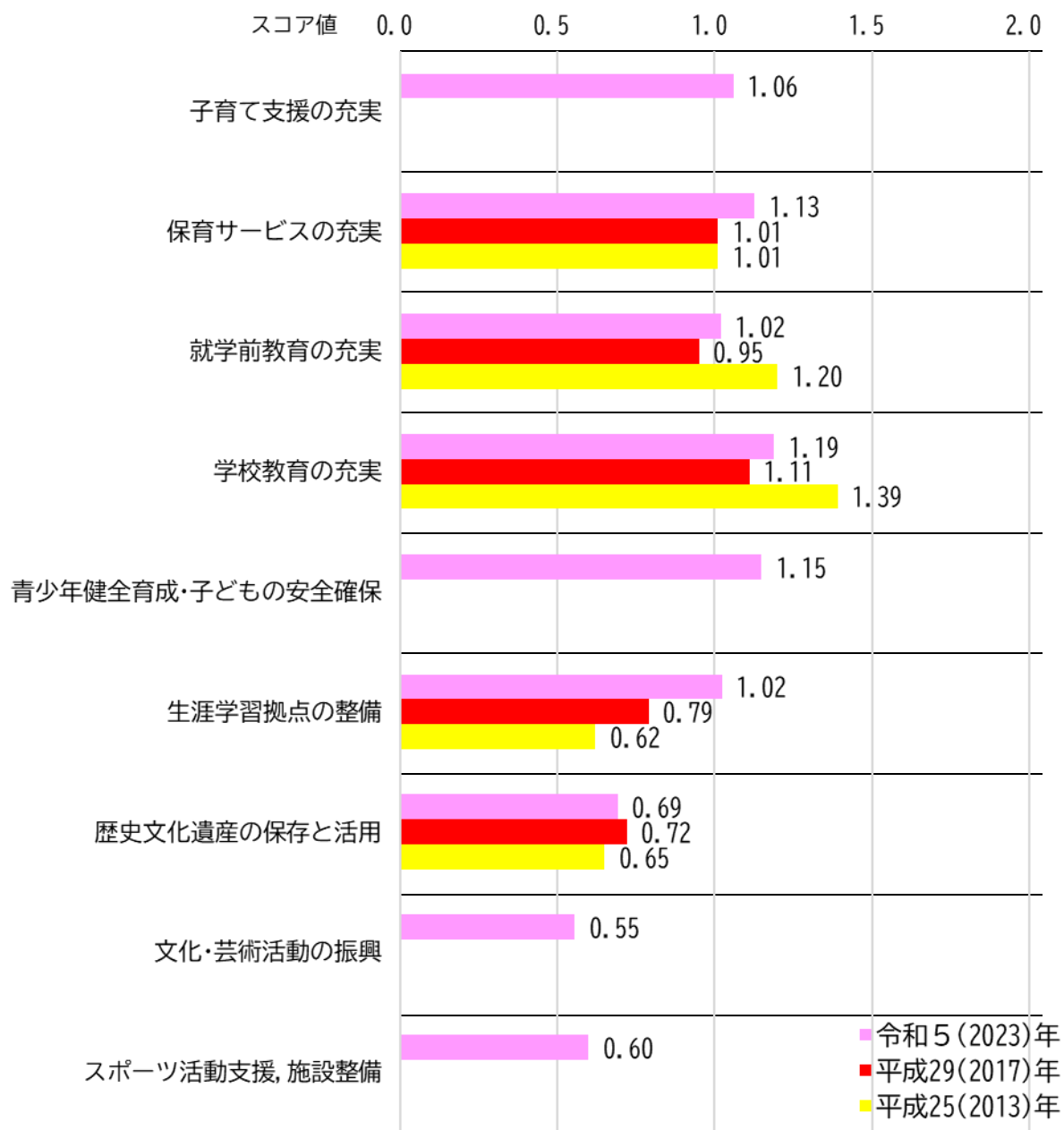
<重要度スコア値>



⑤人を育みみんなが学べるまちづくり
 <満足度スコア値>

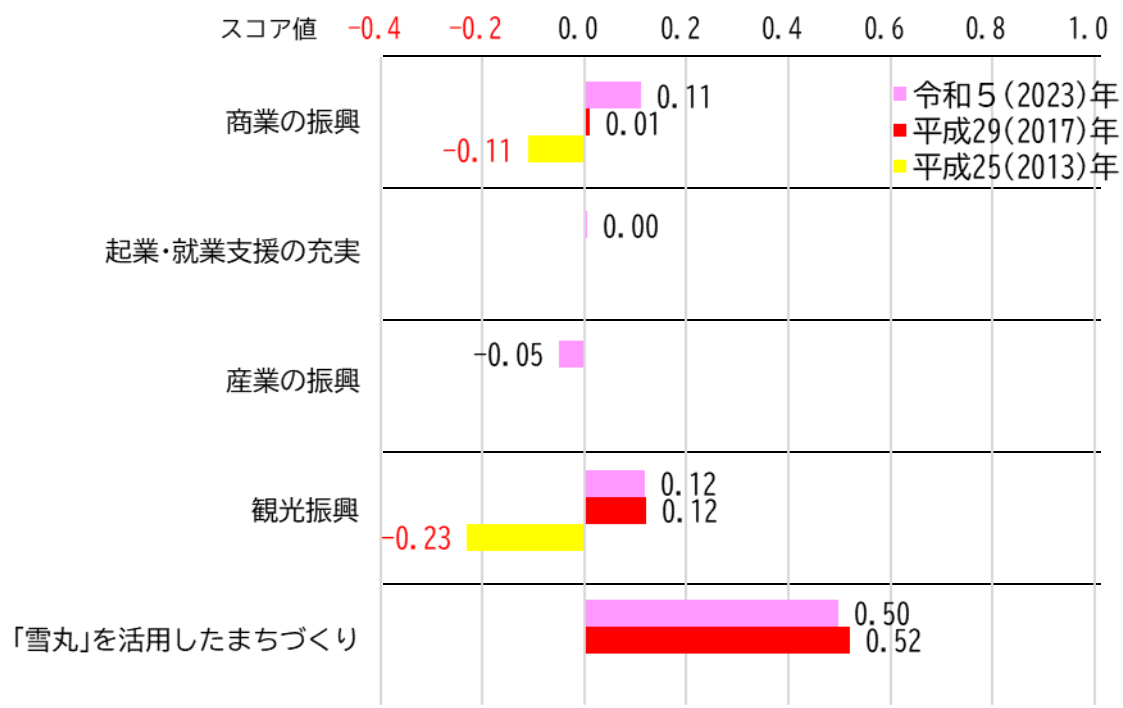


<重要度スコア値>

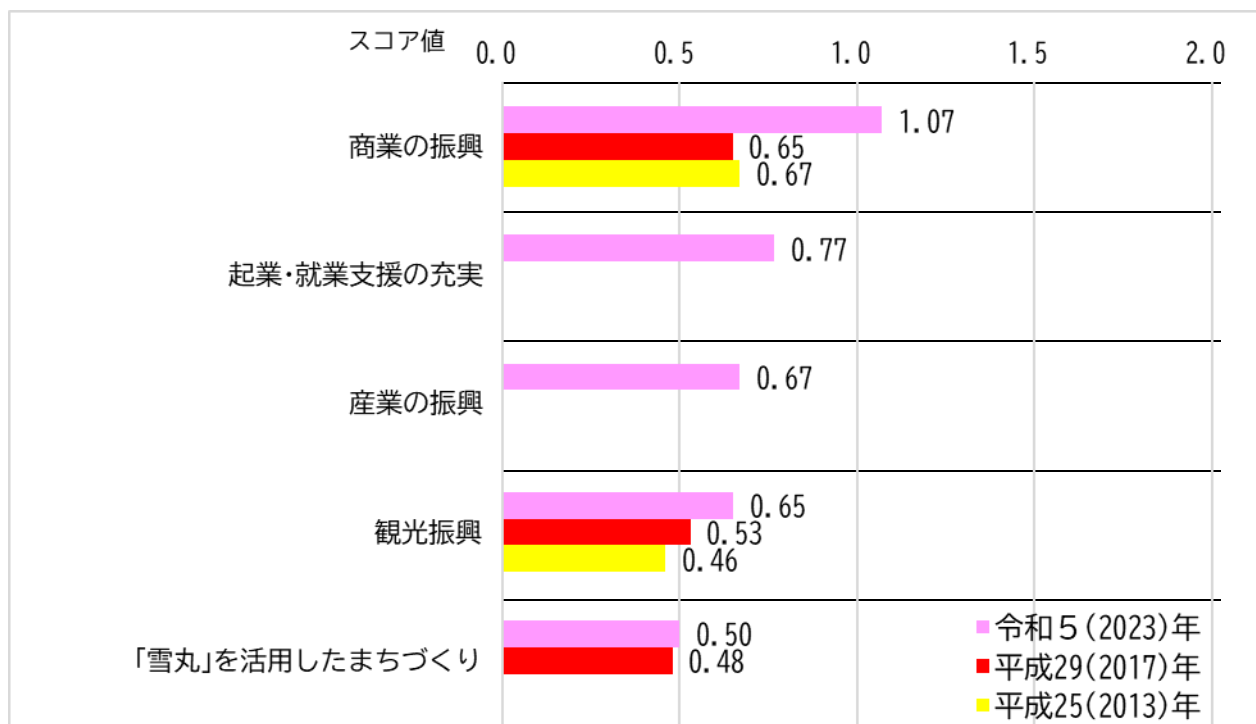


⑥活力とにぎわいのあるまちづくり

<満足度スコア値>



<重要度スコア値>



（８）王寺町をよりよいまちにするために必要なこと 《自由記述》

問 23 （すべての方へ）これからの王寺町をよりよいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

592 件（全回答数の 63.4%）の記載がありました。

コロナ禍で減少したイベントの充実、バス・電車の減便や道路渋滞に対する不満、買い物ができるスーパー等の充実、保育サービスの充実を求める記述が多くありました。